

2 地区別分析 (地区別カルテ)

地区別カルテ (①中央文化センター圏域)

■地区現況

- ・ 地区人口は45,394人(全市に占める割合17.4%)であり、市内でも特に人口が集積している地区である。
- ・ 老年人口は9,065人、高齢化率は20.0%であり、府中市の中では高齢化率が比較的低い。
- ・ 地区内の府中駅は、路線バス・ちゅうらバス(路線バス)の起点となっており、「国立駅」「西国分寺駅」「国分寺駅」「武蔵小金井駅」「武蔵野台駅」「多摩駅」「谷保駅」「分倍原駅」「中河原駅」「是政駅」にアクセスすることができる。
- ・ 幸町2丁目の一部は、交通空白地域となっている。(一部は東京農工大学の敷地)
- ・ 府中駅周辺には、商業施設や医療施設等が集積している。

【地区概要】

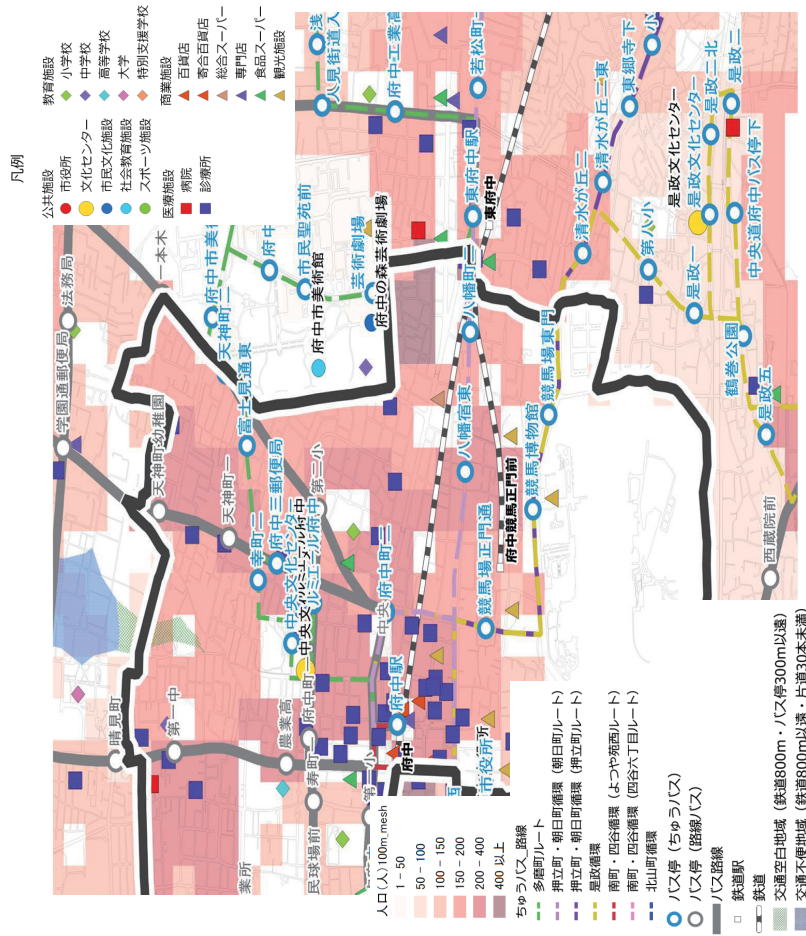


図 地区現況図(人口、施設立地、運行ルート)

<中央エリア>

面積	人口・世帯等
3,666㎡	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
18.4%	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
45,394人	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
17.4%	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
6,029人	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
13.3%	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
30,300人	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
66.7%	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
9,065人	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
20.0%	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
4,672人	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目
10.3%	天神町1-2丁目、幸町1-2丁目、幸町3丁目

※年齢・世帯・人口は、幸町3丁目及び幸町2丁目を含む。

<府中市全体>

面積	人口・世帯等
29,436㎡	府中市全体
126,160世帯	府中市全体
260,232人	府中市全体
34,082人	府中市全体
13.1%	府中市全体
169,156人	府中市全体
65.0%	府中市全体
56,994人	府中市全体
21.9%	府中市全体
29,604人	府中市全体
11.4%	府中市全体

【人口・世帯等の基準日】令和2年1月1日現在。
【出典】住民基本台帳より。

表 地区内の主な公共交通

路線	起終点	便数
西国44・45(京王バス)	府中駅~府中インテリジェントパーク~西国分寺駅	35便
国02(京王バス)	府中駅~東芝前~国立駅南口	15便
国03(京王バス)	府中駅~東芝前~総合医療センター~国立駅南口	62便
国17(京王バス)	府中駅~谷保駅~国立駅南口	48便
寺91(京王バス)	府中駅~明星学院~国分寺駅南口	87便
寺92(京王バス)	府中駅~幸町1丁目~国分寺駅南口	49便
武71(京王バス)	府中駅~一本木~武蔵小金井駅南口	53便
武73(京王バス)	府中駅~学園通郵便局~武蔵小金井駅南口	106便
府42・46(京王バス)	府中駅~府中インテリジェントパーク~第七小学校入口	48便 (府42は平日本数、府46はそれ以外)
多摩町ルート(ちゅうらバス)	府中駅~多摩町	21便
押立町ルート(ちゅうらバス)	府中駅~武蔵野台駅南口	22便
是政循環(ちゅうらバス)	府中駅~是政駅	23便
朝日町ルート(ちゅうらバス)	府中駅~武蔵野台駅南口~多摩駅	22便
北山町循環(ちゅうらバス)	府中駅~武蔵台文化センター西	23便
よつや苑西ルート(ちゅうらバス)	府中駅~分倍原駅~中河原駅	21便

※運行本数の少ない便(府02、府52、府61は除く)

地区別カルテ ①中央文化センター圏域

■ 公共交通利用状況

- ・ 地区内で利用が多いゆうバスは、「府中駅」となっている。一方、「中央文化センター」～「府中三郵便局」、「中央文化センター」～「競馬場東門」～「競馬博物館」間においては、比較的使用が少ない。
- ・ 市全体と比較すると、路線バスの利用が多い地域となっている。
- ・ 公共交通の満足度をみると、63.5%が満足、10.8%が不満と回答しており、満足度が高い。
- ・ 公共交通の不満点としては、「自転車駐輪場が足りない」(27.5%)、「自転車の走行環境が悪い」(22.5%)、「バスの本数がない」(21.3%)、「バスの本数が少ない」(21.3%)であった。

【利用状況】

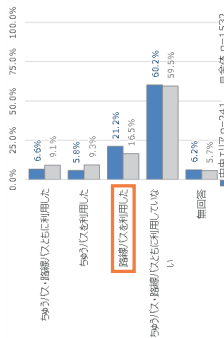


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

【公共交通に対する満足度】 (R2市民アンケートより)

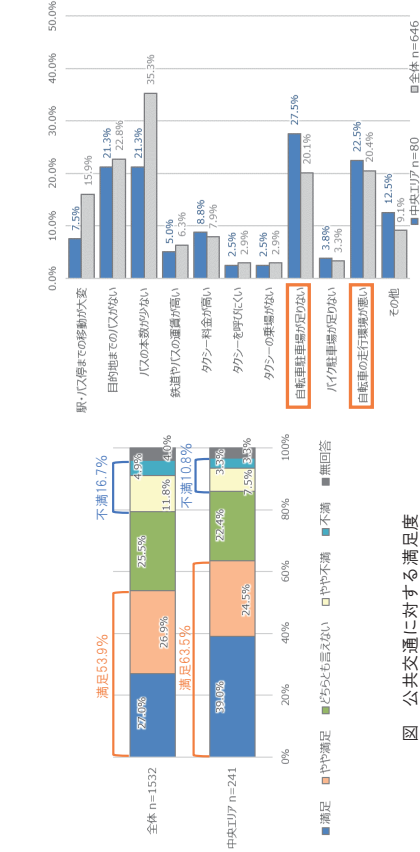
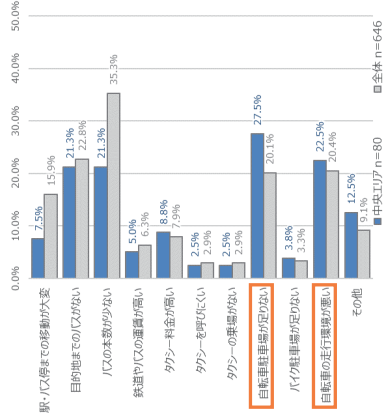


図 公共交通に対する満足度

図 公共交通の不満点

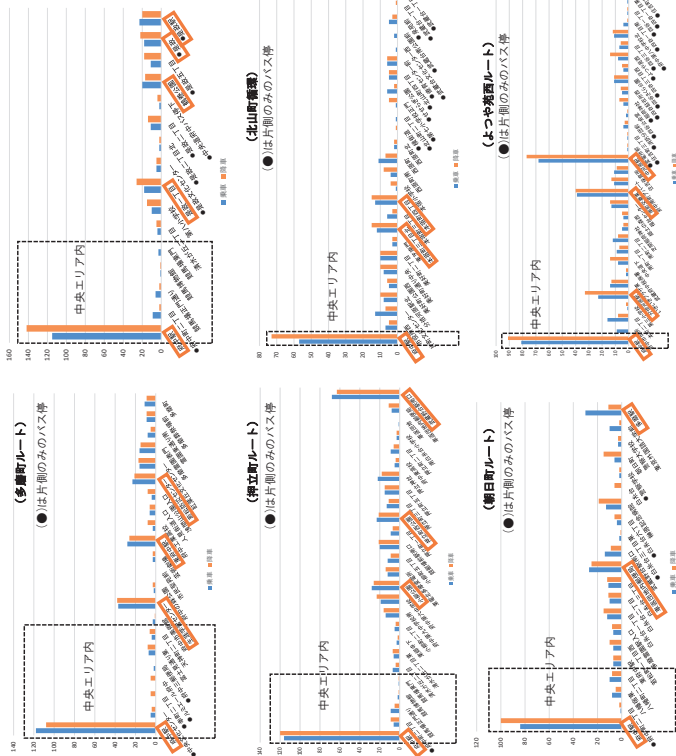


住民の声
(令和2年度
市民アンケート
より)

- ・ 高齢者にとっては、駅に出るまで、バス停に出るまでの間にベンチ等があると、休み休み自力で行動できると思います。(府中町2丁目 80代 女性)
- ・ 府中駅での自転車駐輪がもっと楽にできるところがあるとうれしい。(府中町2丁目 40代 女性)
- ・ 駅周辺の不法駐輪が目立ちます。特に市係員のいなくなる夕方以降の不法駐輪が多い。(天神町1丁目 40代 女性)
- ・ ちゅうバスは乗ったことなく、京王バスよりバス停や路線がわかりづらいイメージで敬遠している。簡単に利用できることが分れば、利用してみたい。(天神町1丁目 40代 女性)

民生委員
アンケート

- ・ 緑町では、近くに路線バスやちゅうバスの停留所がないため、不便で使えない。
- ・ 店に近い駐輪場の収容台数の不足(特にゆき並木通り)。

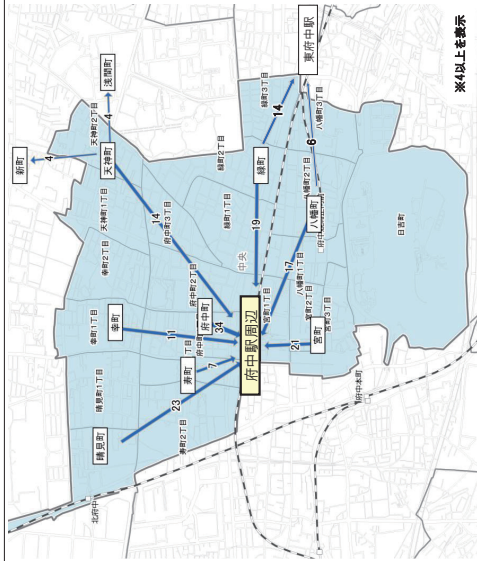


地区別カルテ (①中央文化センター圏域)

■移動特性 (R2市民アンケートより)

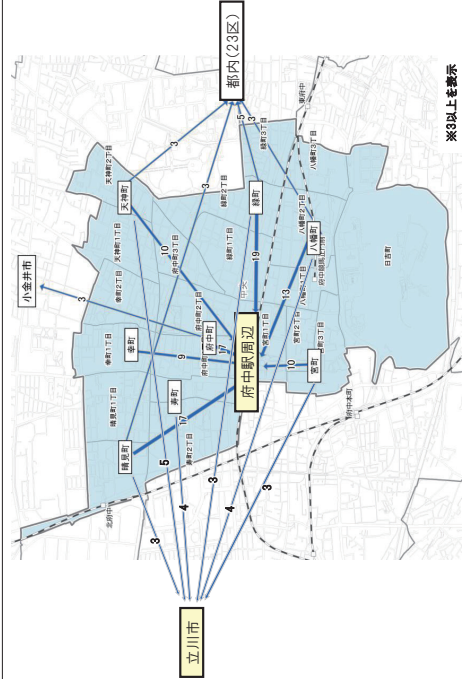
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「府中駅周辺」が多い。
- 緑町・八幡町から「新町」「湯間町」への移動も見られる。



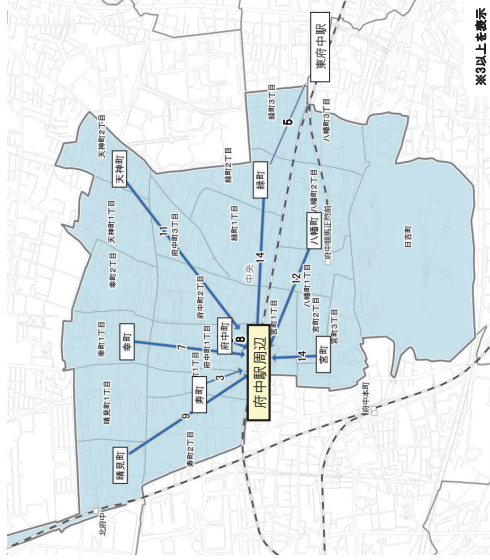
【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先は、「府中駅周辺」「立川市」「都内(23区)」が多い。
- 一部、府中町から「小金井市」への移動も見られる。



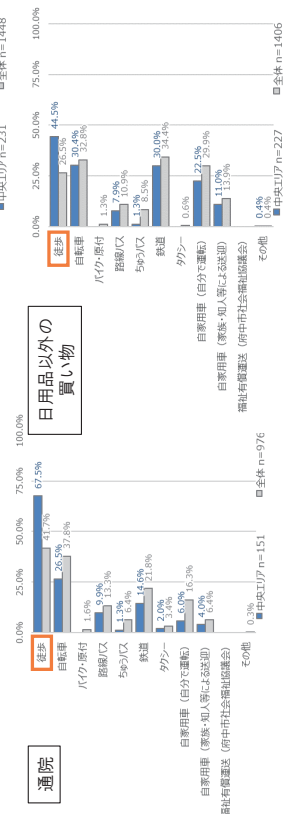
【通院】

- 通院先は、「府中駅周辺」が多く、地区外への通院は少ない。



【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べるといずれの用事においても徒歩が多く、路線バス・ちゅうバス・鉄道の利用が少ない傾向がある。



地区別カルテ (①中央文化センター圏域)

【通勤状況】

- ・ 約53%が「週に3回以上」、約61%が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 交通手段は、「徒歩 (52.6%)」「自転車 (26.5%)」「鉄道 (19.5%)」となっており、路線バス利用者が9.3%と、市全体と比べてやや高い。
- ・ 通勤先は「都内 (主に23区)」が多く、市内に勤務している割合は27.5%であった。

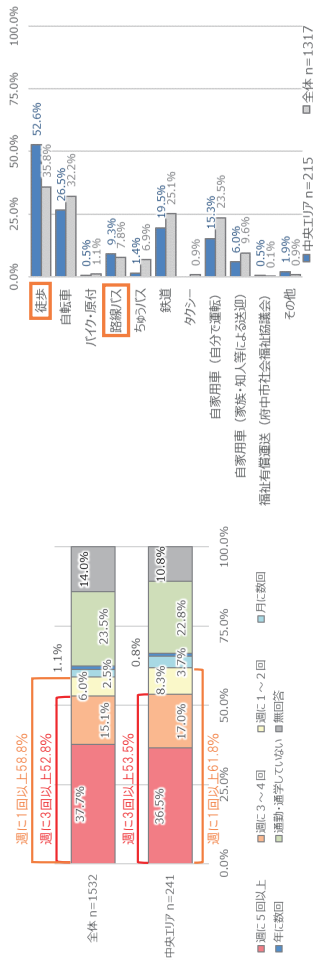
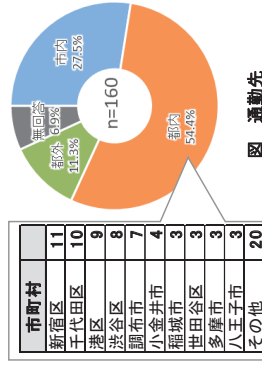


図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段



■地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 府中駅が交通結節点となっており、公共交通が充実している。
- ・ 府中駅周辺が生活圏となっており、徒歩・自転車で日常生活が完結している。
- ・ 市民アンケートの自由回答では、自転車利用環境（駐輪場、走行環境、利用マナーなど）についての要望が寄せられている。

【課題】

- ・ 徒歩・自転車の利用環境の向上に向けた検討が必要である。

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 鉄道駅までの交通手段は、徒歩が多い。雨天時は、路線バスを利用する割合が高まる。
- ・ 「府中駅」の利用が最も多く、次いで「東府中駅」「北府中駅」の利用も一定程度見られる。

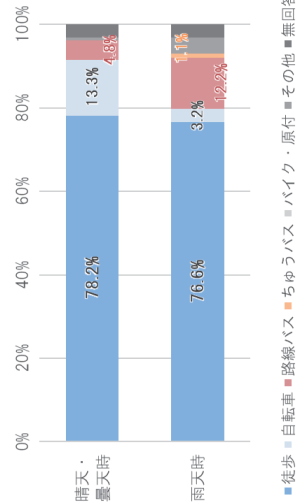


図 駅までの交通手段



図 日常的に利用する駅

地区別カルテ (②白糸台文化センター圏域)

■地区現況

- 地区人口は30,294人（全市に占める割合12.0%）であり、地区北西部に特に集中している。
- 老年人口は5,946人、高齢化率は19.6%であり、府中市の中では高齢化率がやや低い。
- 地区内には、路線バスが3路線、ちゅうバスが3路線運行しており、「**府中駅**」「**東府中駅**」「**武蔵野台駅**」「**多摩駅**」「**武蔵小倉駅**」「**三鷹駅**」にアクセスすることができ、また、鉄道駅が4駅あり、**広域移動の利便性も高いエリア**である。

【地区概要】

人口・世帯等		人口・世帯等		人口・世帯等	
面積	2,344㎡	面積	29,436㎡	面積	29,436㎡
世帯	15,186世帯	世帯	126,160世帯	世帯	54世帯
人口	30,294人	人口	280,232人	人口	43人
人口密度	12.0%	人口	34,082人	人口	1.5人/100㎡
0～14歳	13.1%	人口	169,156人	人口	12人
15～64歳	65.0%	人口	56,994人	人口	22人
65歳以上	21.9%	人口	29,004人	人口	22人
75歳以上(再掲)	11.4%	人口	11,496人	人口	21人

【人口・世帯等の基準日】令和2年1月1日現在。
【出典】住民基本台帳より。

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
南75 (南バス)	東府中駅～武蔵小倉駅	54便
南85、南95 (南バス)	多摩駅～武蔵小倉駅	43便
南52 (小田急)	三鷹駅～東武田圃など	12便
押立町ルート (ちゅうバス)	武蔵野台駅～府中駅	22便
朝日町ルート (ちゅうバス)	多摩駅～武蔵野台駅～府中駅	22便
多摩町ルート (ちゅうバス)	多摩町～府中駅	21便

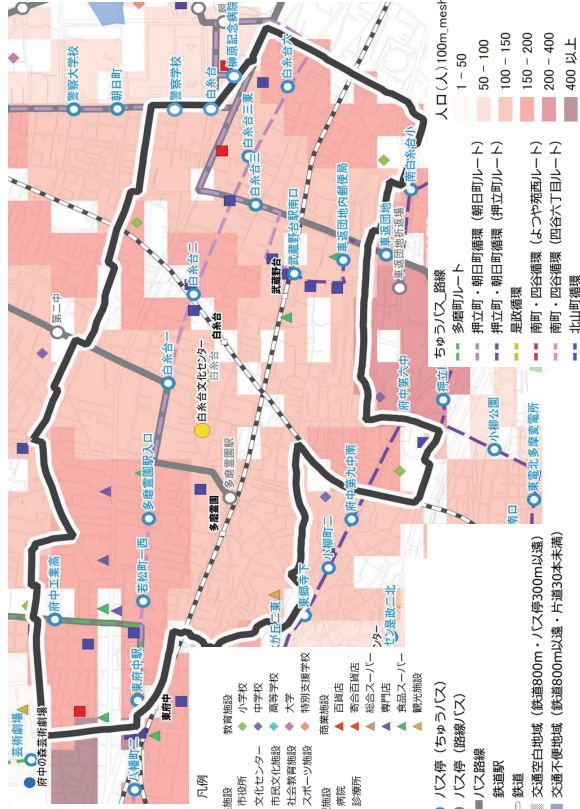


図 地区現況図 (人口、施設立地、運行ルート)

■公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスは、朝日町ルートでは、**「東府中駅」～「武蔵野台駅」**間で、その他のルートでは京王線駅での乗降が多い。一方で**「白糸台三丁目東」**や**「警察学校」**は比較的に利用が少ない。
- 市全体と比較すると、**ちゅうバスの利用が多**く、**路線バスの利用が少なく**なっている。
- 公共交通の満足度をみると、約6割が満足と回答しており、市全体と比べてやや割合が多い。
- 公共交通に関する不満点としては、「バスの本数が少ない(27.5%)」「自転車駐車場が足りない(19.6%)」「目的地までのバスがない(11.8%)」であったが、市全体と比べるとやや割合が低い。

【利用状況】

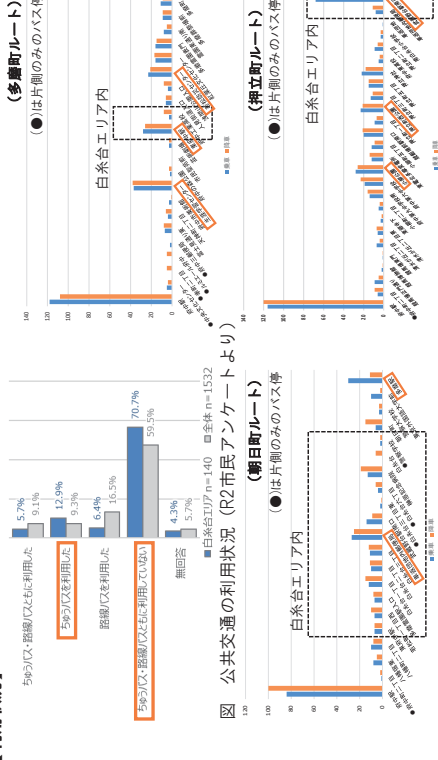


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

【公共交通に対する満足度】 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

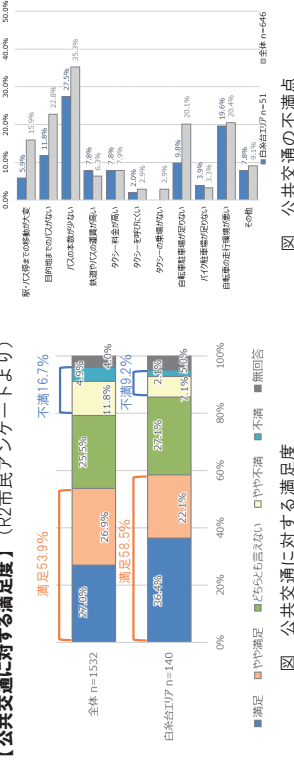


図 公共交通の満足度

- ちゅうバスの本数を1時間に3本程度にしてほしい。(白糸台2丁目70代 女性)
- 自宅近くにバス停があるが、バスの乗車方法(支払い方法など)が分からないため、ひとりでは利用しない。(若松町2丁目60代 女性)
- 生涯学習センターへのバスが少なく不便です。(若松町1丁目70代 女性)

- 混雑する時間帯は高齢者が座れなくて困っている。
- 多摩園駅周辺にはスーパがなくて、買いたい物が不便になっている。

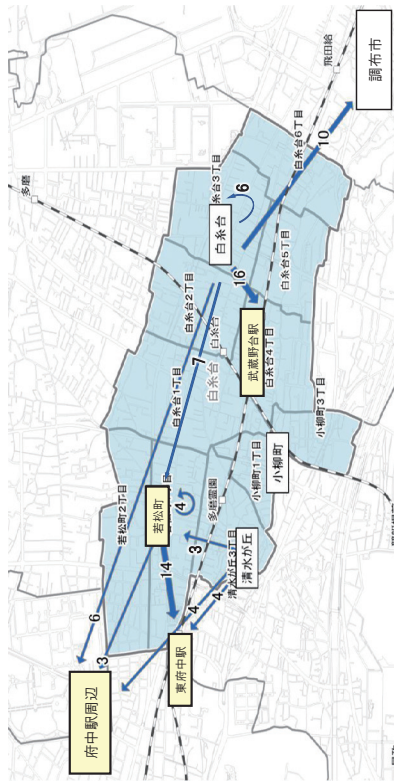
図 公共交通に対する不満点

地区別カルテ (2)白糸台文化センター圏域

■移動特性 (R2市民アンケートより)

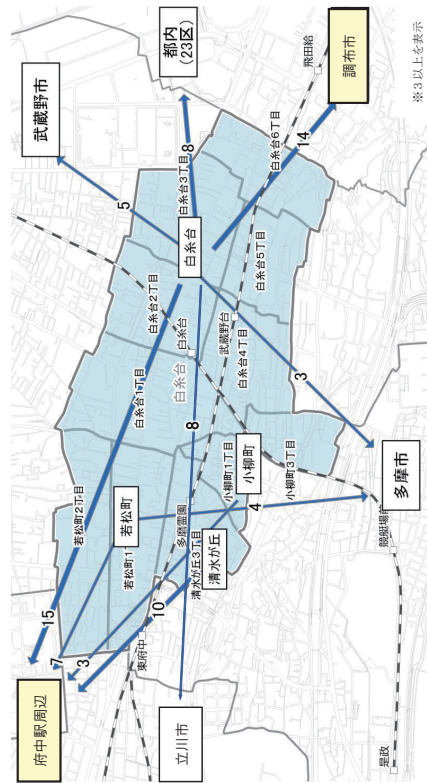
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「東府中駅周辺」「武蔵野台駅周辺」が多い。
- 一部、白糸台内の移動や白糸台から「若松町」への移動も見られる。



【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先としては、「府中駅周辺」が多い。
- 地区東部に位置する「白糸台」からは、「調布市」や「都内(23区)」などへの移動も見られる。
- 地区内の鉄道駅周辺での買物は見られなかった。



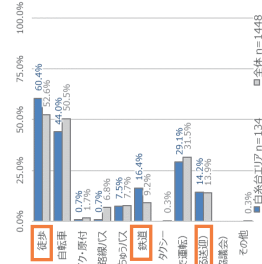
【通院】

- 通院先は、「府中駅周辺」が多い。
- また、地区東部に位置する「白糸台」からは「都内」への通院が多い。
- その他、「調布市」への移動も一部見られる。



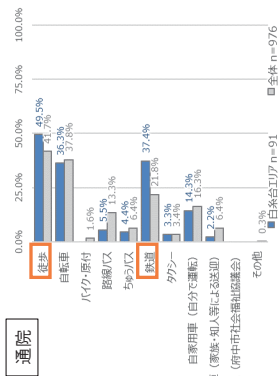
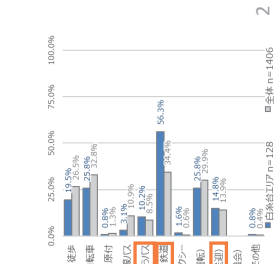
【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- いずれの用事においても「鉄道」の利用率が高いエリアである。
- 日用品の買い物と通院においては、「徒歩」が約半数を占めている。
- いずれの用事においても路線バスの利用率は低い。
- 市全体と比べると自家用車(自分で運転)の利用が少ない。



日用品の買い物

日用品以外の買い物



地区別カルテ (②白糸台文化センター圏域)

【通勤状況】

- ・ 約46%が「週に3回以上」、約52%が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 市全体と比べて「通勤・通学していない (25.0%)」の割合が多い。
- ・ 交通手段は、「鉄道 (39.3%)」「徒歩 (29.3%)」「自転車 (24.1%)」となっており、「路線バス・ちゅうバスの利用は低率である」といえる。
- ・ 通勤先は「都内 (主に23区)」が多く、市内に勤務している割合は28.9%であった。

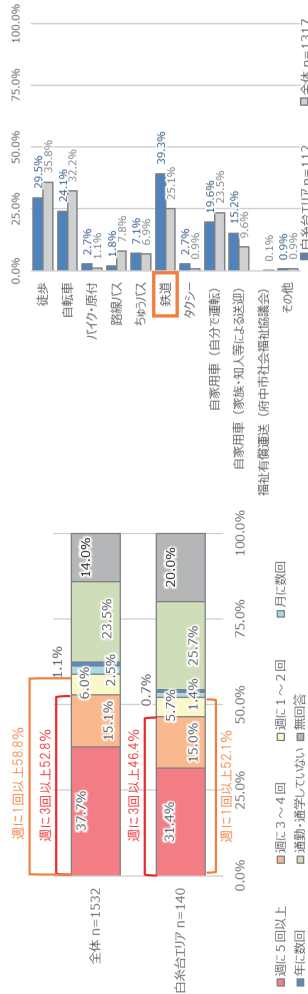


図 通勤の頻度

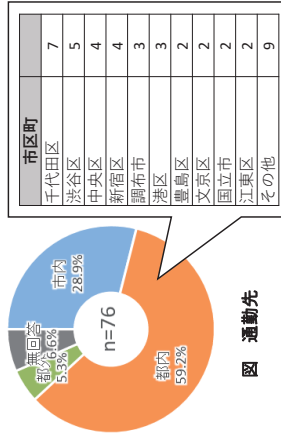


図 通勤先

■地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 鉄道やちゅうバスによって府中駅へのアクセスが確保されており、自宅から「府中駅周辺」までが生活圏となっている。
- ・ 西武多摩川線や京王線が運行しており、「白糸台」では「都内」や「調布」への移動も見られる。

【課題】

- ・ 白糸台エリア～府中間の移動ニーズを踏まえた、ちゅうバス運行ルートの見直し検討が必要である。
- ・ 府中駅方面や都内方面へのアクセス性の維持に向けた検討が必要である。

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「武蔵野台駅」の利用が最も多く、「多摩霊園駅」「東府中駅」の利用、白糸台から「飛田給駅」への利用も一定程度見られる。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、徒歩・自転車が多く、路線バス・ちゅうバスの利用はほとんどみられない。

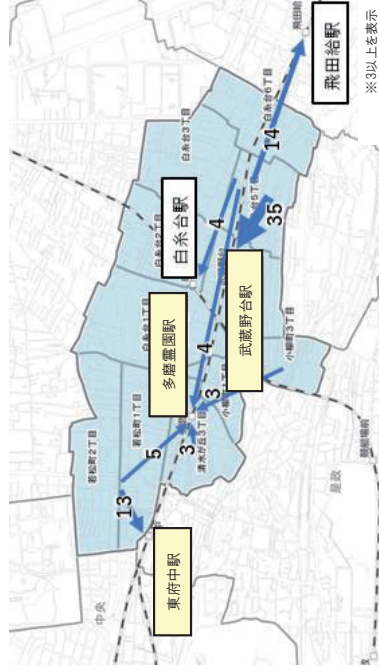


図 日常的に利用する駅

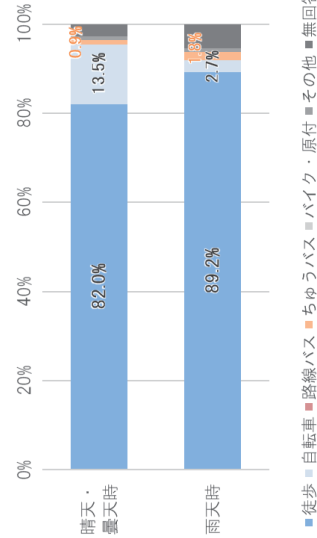


図 駅までの交通手段

地区別カルテ (③西府文化センター圏域)

【通勤状況】

- ・ 約57%が「週に3回以上」、約64%が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 市全体と比べると「通勤・通学していない(20.0%)」の割合が少ない。
- ・ 交通手段は、「自家用車(自分で運転)」(36.6%)、「徒歩(33.7%)」「自転車(33.7%)」となっており、路線バス・ちゅうバスの通勤利用は少ない。
- ・ 通勤先は「都内(立川市、日野市など)」が多く、市内に勤務している割合は29.1%であった。



図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「西府駅」の利用が最も多く、次いで「分倍河原駅」の利用が多い。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、徒歩・自転車が多い。雨天時は、路線バス・ちゅうバスを利用する割合が高まる。

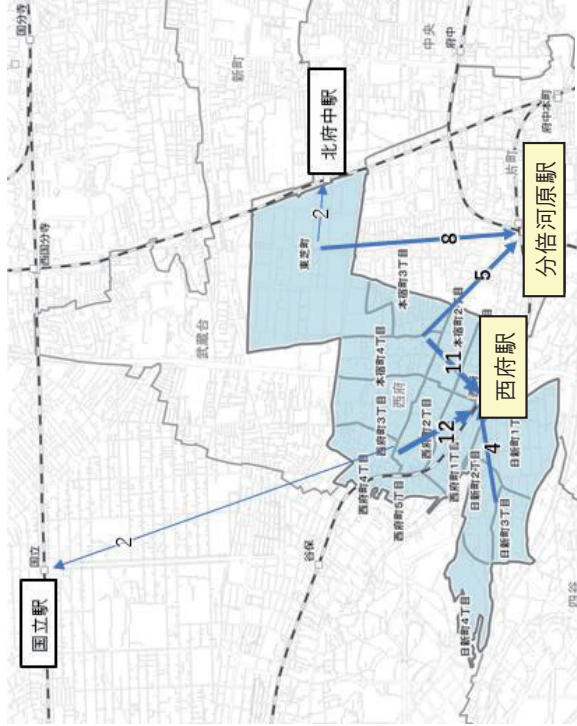


図 日常的に利用する駅

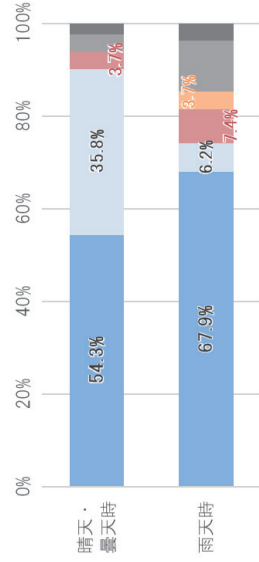


図 駅までの交通手段

【現状・問題点】

- ・ 西府駅周辺や府中駅周辺、西原町が生活圏となっている。
- ・ 通院においては、多摩総合医療センターのある武蔵台への移動もみられるものの、西府駅周辺から多摩総合医療センター方面への公共交通サービスが不十分である可能性がある。
- ・ 地区内には路線バス・ちゅうバス・鉄道の公共交通網が充実しているものの、マイカー利用率が高い。

【課題】

- ・ 府中駅周辺へのアクセス性の維持に向けた検討が必要である。
- ・ 西府駅周辺から武蔵台方面へのアクセス性の向上に向けた検討が必要である。

地区別カルテ (④武蔵台文化センター圏域)

■地区現況

- 地区人口は14,538人 (全市に占める割合5.6%) であり、武蔵台3丁目、北山町4丁目に特に集中している。
- 老年人口は4,028人、高齢化率は27.7%であり、府中市の中でも高齡化が進んでいる。
- 地区内には、路線バスが6路線、ちゅうバスが1路線運行しており、「**国立駅**」「**西国分寺駅**」「**府中駅**」「**西府駅**」にアクセスすることができる。
- また、武蔵台地区は**多摩総合医療センターを中心に起伏がある地形**となっている。

【地区概要】

<武蔵台エリア>

項目	人口・世帯等
面積	1,639㎡
地域	武蔵台、北山町、西府町
世帯	7,109世帯
人口	14,538人
(全市に占める割合)	5.6%
人口	1,658人
(0~14歳)	11.4%
人口	8,857人
(15~64歳)	60.9%
人口	4,028人
(65歳以上)	27.7%
人口	2,311人
(75歳以上(再掲))	15.9%

<府中市全体>

項目	人口・世帯等
面積	29,434㎡
世帯	126,160世帯
人口	260,232人
人口	34,082人
(0~14歳)	13.1%
人口	169,156人
(15~64歳)	65.0%
人口	56,994人
(65歳以上)	21.9%
人口	29,804人
(75歳以上(再掲))	11.4%

【人口・世帯等の基連日】
各和2年1月1日現在。

【出典】
住民基本台帳より。

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
国01 (保王バス)	府中商業所~東芝前~国立駅前	6便
国02~03 (保王バス)	府中駅~東芝前~国立駅	77便
府01 (保王バス)	府中駅~総合医療センター	8便
府02~04 (保王バス)	府中駅~府中インテリジェントパーク~府中駅	48便 (休日・年末年始を除く)
西01 (保王バス)	府中44・45	35便
西02 (保王バス)	府中駅~総合医療センター(西国分寺)	11便
北山町循環 (ちゅうバス)	武蔵台文化センター西~西国分寺	23便

■公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスのバス停は、「**西原町南**」「**西原町**」や「**せせらぎ公園**」~「**鎌倉センター前**」間となっており、「**西原町北**」~「**北山町三丁目**」間や「**武蔵台文化センター西**」~「**武蔵台一丁目西**」間においては、**比較の利用が少ない**。
- 市全体と比較すると、**路線バスの利用が多く、ちゅうバスの利用が少ない**地域となっている。
- 公共交通の満足度をみると、24.6%が不満と回答しており、市全体と比べて割合が多い。
- 公共交通の不満点としては、「**バスの本数が少ない** (35.0%)」「**目的地までのバスがない** (32.5%)」「**駅・バス停までの移動が大変** (20.0%)」であった。

【利用状況】

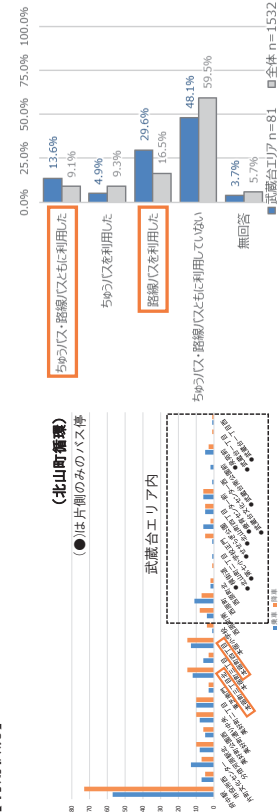


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

図 バス別別の乗降車数 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

【公共交通に対する満足度】 (R2市民アンケートより)

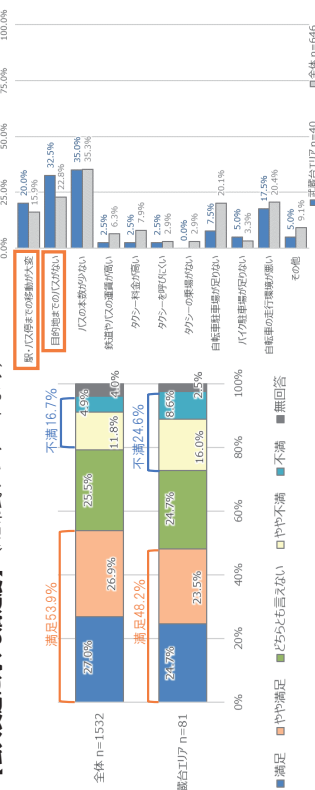


図 公共交通に対する満足度

図 公共交通の不満点

- 住民の声 (令和2年度 市民アンケート 下より)
- ちゅうバスで府中駅まで行く場合に時間がかかる (北山町4丁目 50代 男性)
 - 早朝にJR方面に出られるバスがない。雨の日は大変。(北山町2丁目 50代 女性)
 - ちゅうバスが武蔵台文化センターのある坂下までしか来ないので、武蔵台3丁目からはバス停に近い人でも、坂の上り下りを考えずと利用できない。

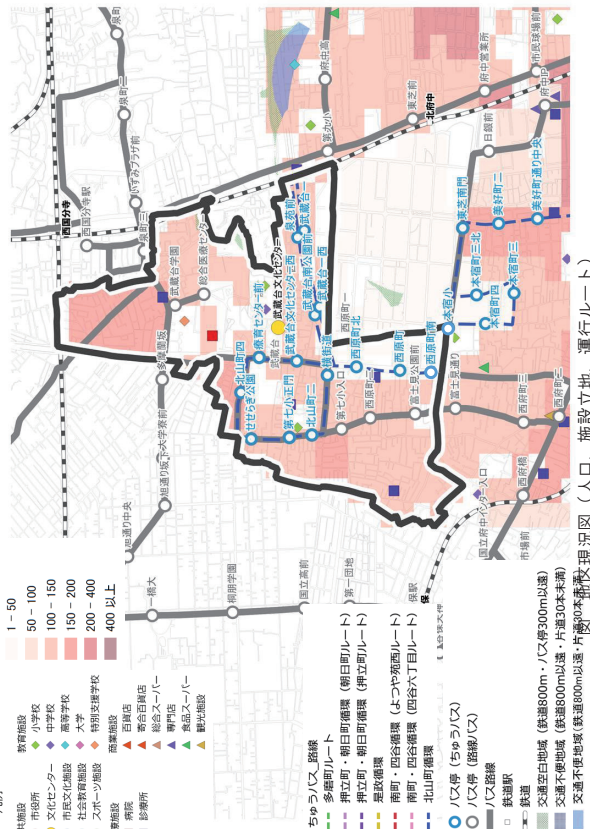


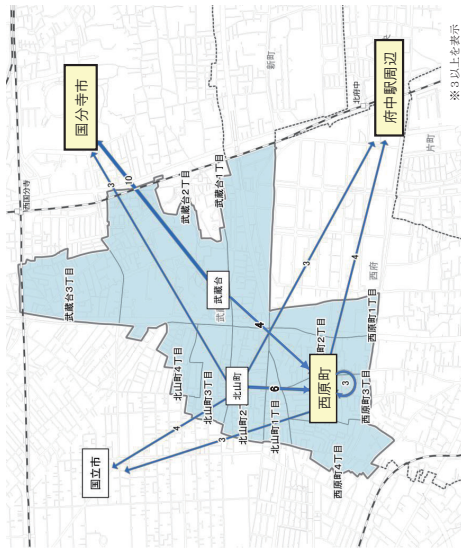
図 地区現況図 (人口、施設立地、運行ルート)

地区別カルテ (④武蔵台文化センター圏域)

■移動特性 (R2市民アンケートより)

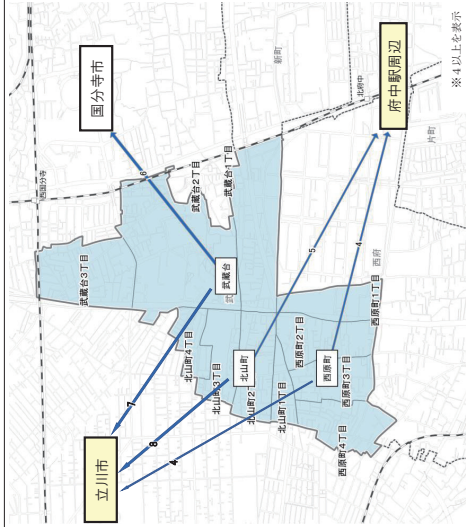
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「**国分寺市**」「**西原町**」が多い。
- 次いで、北山町・西原町から「**府中駅周辺**」「**国立市**」への移動もみられる。



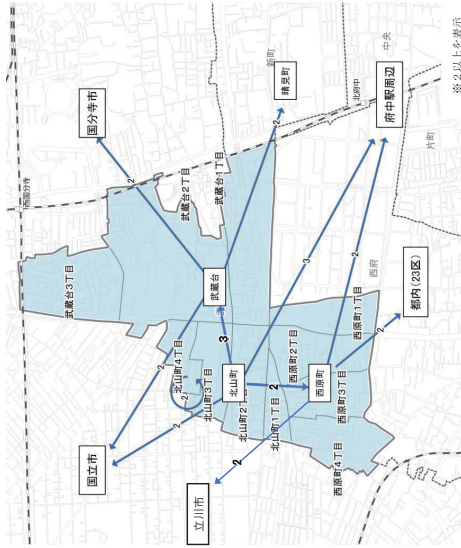
【日用品以外の買い物】

- 北山町・西原町からは「**府中駅周辺**」「**立川市**」「**国分寺市**」への移動が多い。
- 武蔵台からは「**立川市**」「**国分寺市**」への移動もみられる。



【通院】

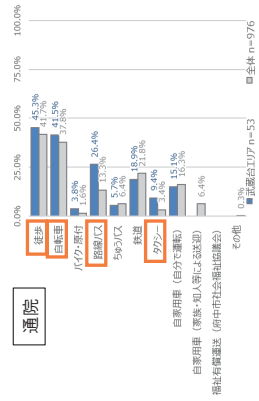
- 通院先は、「**府中駅周辺**」や「**国立市**」が多い。
- 北山町から武蔵台・西原町・北山町内といった地域内の通院も見られる。



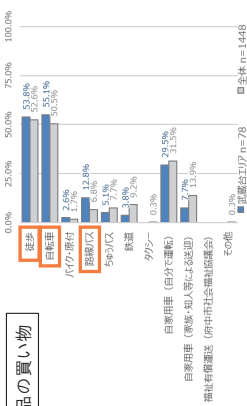
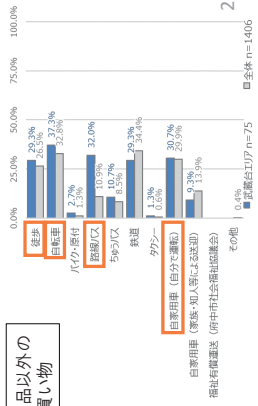
【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べると、いずれの用事においても、**徒歩・自転車・路線バス**利用が多い傾向がある。

通院



日用品以外の買い物



地区別カルテ (④武蔵台文化センター圏域)

【通勤状況】

- ・ 約5割が「週に3回以上」、約57%が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 交通手段は、「徒歩 (40.3%)」「自転車 (34.3%)」「**自家用車 (自分で運転) (25.4%)**」となっている。
- ・ **公共交通による通勤もみられ、「路線バス (19.4%)」「鉄道 (17.9%)」**となっている。
- ・ 通勤先は「**都内 (国分寺市、立川市、国立市など)**」が最も多く、市内に勤務している割合は41.7%であった。



図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段

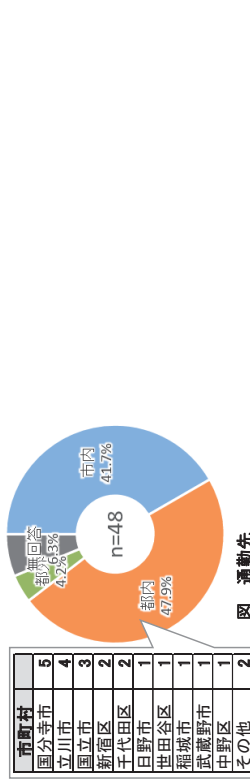


図 通勤先

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 各地区の最寄り鉄道駅を利用する傾向があり、武蔵台は「西国分寺駅」、北山町は「国立駅」、西原町は「府中駅」が多い。
- ・ 各地区とも「**府中駅**」の利用は一定程度見られる。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、徒歩・自転車が多いが、**2割が路線バスを利用して駅までアクセスしている。**

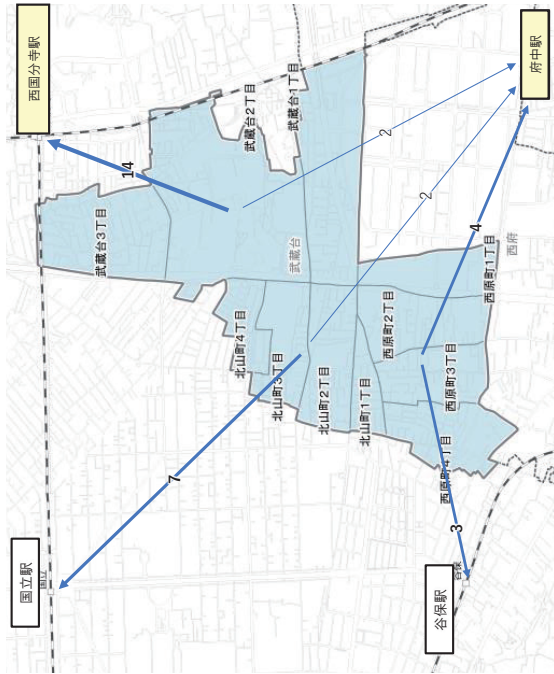


図 日常的に利用する駅

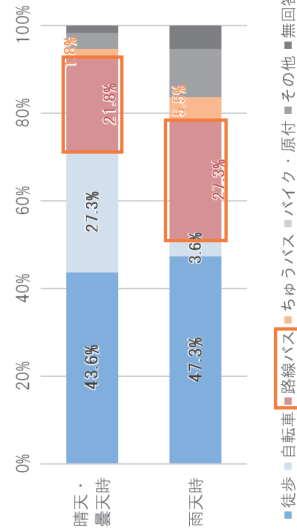


図 駅までの交通手段

【現状・問題点】

- ・ 地区ごとに生活圏が異なっており、西原町は西原駅・府中駅周辺、北山町は国立駅・府中駅周辺、武蔵台は西国分寺駅・府中駅周辺である。
- ・ ちゅうバス北山町循環において、利用が少ない区間がある。
- ・ ちゅうバス北山町循環と路線バスのルートが重複している区間がある。
- ・ 市全体と比べて高齢者割合が高いエリアとなっている。
- ・ 多摩総合医療センター周辺は、起伏があるため、高齢者にとってはバス停まで歩くことが困難である可能性がある。

【課題】

- ・ 府中駅周辺へのアクセス性の維持に向けた検討が必要である。
- ・ 西原町から西原駅、北山町から国立駅、武蔵台から西国分寺駅へのアクセス性の維持・向上に向けた検討が必要である (周辺市(国分寺市・国立市)との広域連携)。
- ・ 移動ニーズを踏まえた、ちゅうバス(北山町循環)の運行ルートの見直し検討が必要である。
- ・ なお、ルート検討においては、バス停までの距離だけでなく、地形を踏まえた検討が必要である。

地区別カルテ (⑤新町文化センター圏域)

■地区現況

- 地区人口は25,401人（全市に占める割合9.4%）であり、新町や浅間町3丁目に特に集中している。
- 高齢化率は25.8%であり、府中市の中でも高年齢化が進んでいる。
- 地区内には、路線バスが7路線、ちゅうバスが1路線運行しており、「府中駅」「国分寺駅」「国立駅」「武蔵小金井駅」「夏府中駅」にアクセスすることができる。
- 栄町1・3丁目や幸町3丁目などの一部で、交通空白地域や交通不便地域となっている。

【地区概要】

<新町エリア>

項目	人口・世帯等
面積	2,914㎡
世帯数	2,914世帯
人口	12,610世帯
性別	
男性	34,092人
女性	34,092人
年齢	
0～14歳	18.1%
15～64歳	65.0%
65歳以上	16.9%
人口	56,994人
性別	
男性	28,604人
女性	28,390人
年齢	
0～14歳	11.4%
15～64歳	62.7%
65歳以上	25.8%
人口	3,545人
性別	
男性	1,773人
女性	1,772人
年齢	
0～14歳	14.0%

<府中市全体>

項目	人口・世帯等
面積	29,434㎡
世帯数	126,160世帯
人口	34,092人
性別	
男性	169,156人
女性	169,156人
年齢	
0～14歳	13.1%
15～64歳	65.0%
65歳以上	21.9%
人口	29,604人
性別	
男性	14,802世帯
女性	14,802世帯
年齢	
0～14歳	9.8%
15～64歳	62.7%
65歳以上	27.5%
人口	3,545人
性別	
男性	1,773人
女性	1,772人
年齢	
0～14歳	14.0%

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
国01 (京王バス)	府中商業所～東芝前～国立駅前	6便
京66 (京王バス)	府中商業所～府中中央～武蔵小金井駅前	2便 (日・祝のみ)
京91 (京王バス)	府中駅～明真学園～国分寺駅前	87便
京92 (京王バス)	府中駅～栄町一丁目～国分寺駅前	49便
京71 (京王バス)	井坂駅～一本木～武蔵小金井駅前	53便
京73 (京王バス)	府中駅～学園通り御座前～武蔵小金井駅前	106便
京75 (京王バス)	東府中駅～浅間町三丁目～武蔵小金井駅前	54便
多摩川ルート (ちゅうバス)	府中駅～多摩川	21便

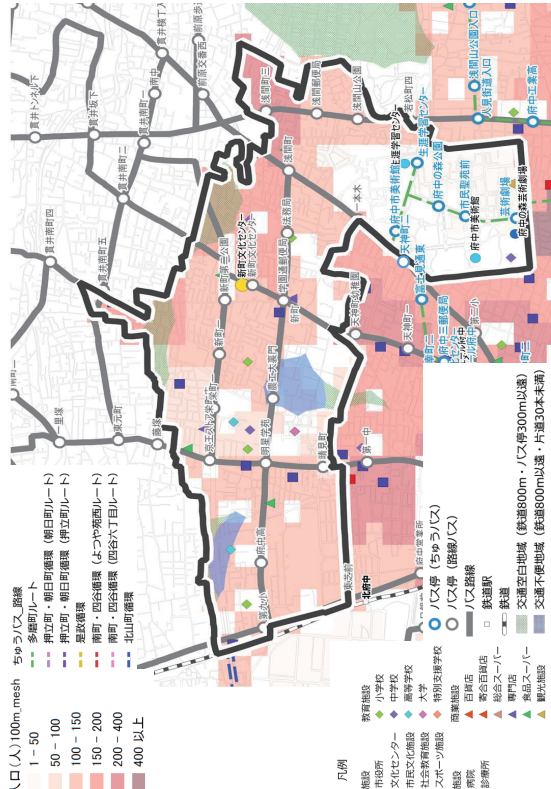


図 地区現況図 (人口、施設立地、運行ルート)

■公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスは、「生活学習センター」となっている。一方、「府中市美術館」「市民聖苑前」においては、利用が少ない。
- 市全体と比較すると、路線バスの利用が非常に多い地域となっている。
- 公共交通の満足度をみると、18.1%が不満と回答しており、市全体と比べてやや割合が多い。
- 公共交通の不満足としては、「バスの本数が少ない(25.3%)」の回答が最も多いが、市全体と比較するとその割合が少ない。
- その他「自転車駐輪場が足りない(21.3%)」「自転車の走行環境が悪い(17.3%)」であった。

【利用状況】

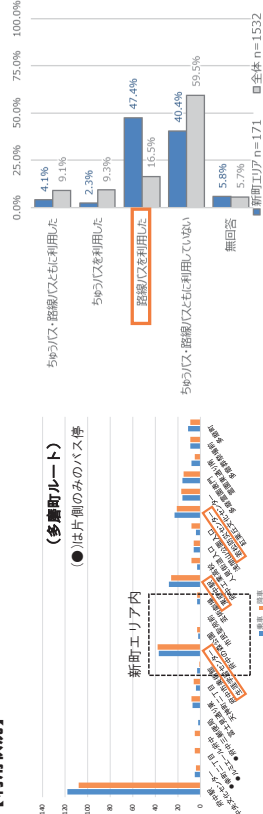


図 バス停別の乗降車数 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

【公共交通に対する満足度】 (R2市民アンケートより)



図 公共交通に対する満足度

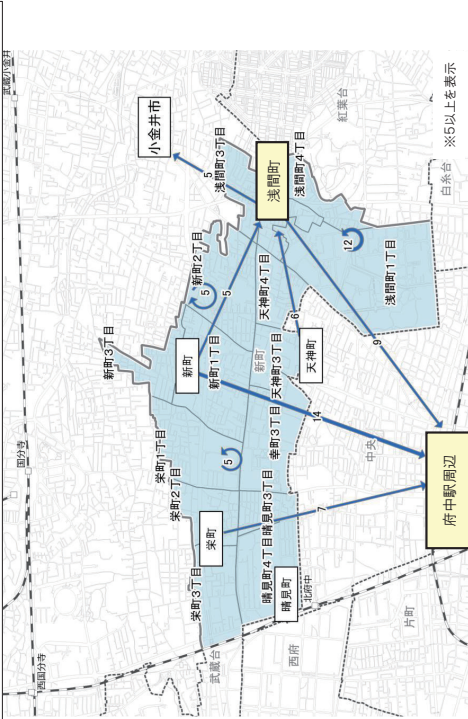
住民の声 (令和2年度 市民アンケートより)	公共交通の不満足
・悪天候時の府中～国分寺の路線バスは混みすぎて乗れない。(栄町1丁目 40代 男性)	・公共交通の不満足
・ちよこりんスポットを復活させてほしい。(新町2丁目 20代 女性) (新1丁目 70代 男性) (幸町3丁目 40代 女性) など)	・公共交通の不満足
・スーパーは歩いて10～15分のところにあるが、駅の悪い人暮らしの老人が多く、途中乗れて通端に座り込んでくれるのに度々出くわす。	・公共交通の不満足
・通院に不便を感じている人が多い。	・公共交通の不満足

地区別カルテ (5)新町文化センター圏域

■移動特性 (R2市民アンケートより)

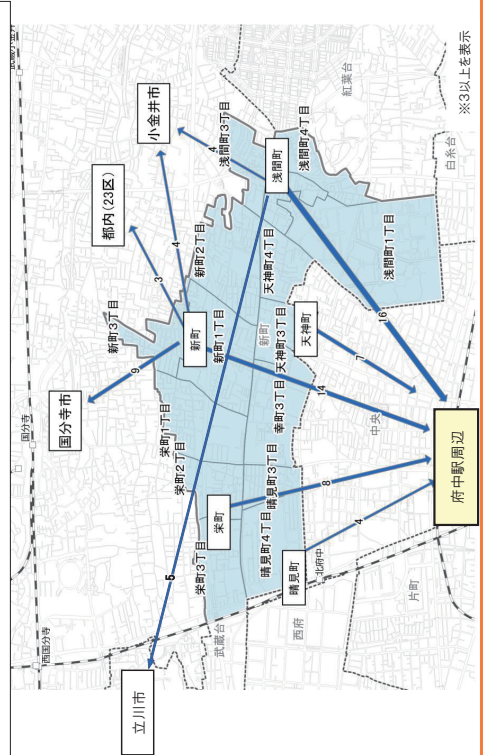
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「府中駅周辺」「浅間町」が多い。
- 栄町内、新町内、浅間町内といった地区内で買い物を済ませる傾向が見られる。
- 一部、浅間町から「小金井市」への移動も見られる。



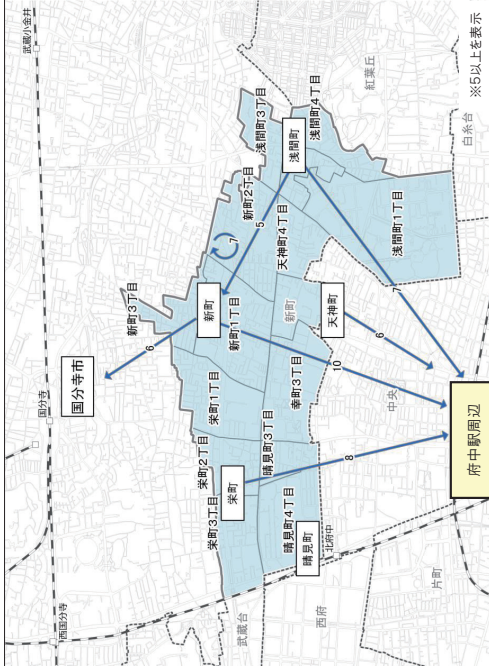
【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先は「府中駅周辺」への買い物が多い。
- その他、新町・浅間町から「国分寺市」への移動も見られる。



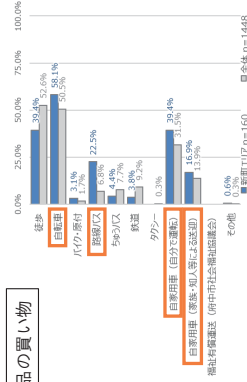
【通院】

- 通院先は、「府中駅周辺」「新町」が多い。
- 限定的ではあるが、新町から「国分寺市」への通院も見られる。

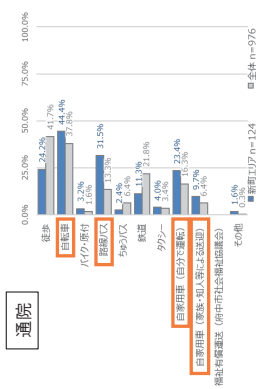


【交通手段】

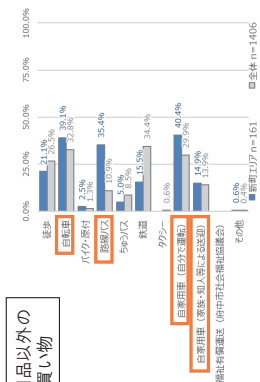
- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べると、**自転車・路線バス・自家用車(自分で運転)**の利用が多い傾向がある。
- 一方、**ちゅうバス・鉄道の利用は少ない**傾向がみられる。



【通院】



【日用品以外の買い物】



地区別カルテ (5)新町文化センター圏域

【通勤状況】

- ・ 約50%が「週に3回以上」、約56%が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 交通手段は、「自転車(40.0%)」「自家用車(自分で運転)(32.1%)」「徒歩(25.7%)」が多い。
- ・ 市全体と比べて、「路線バス(22.9%)」の利用が多い。
- ・ 通勤先は「都内(調布市、新宿区、渋谷区など)」が多く、市内に勤務している割合は33.7%であった。



図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段

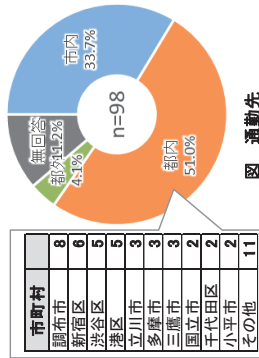


図 通勤先

■地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 生活圏が多様で、府中駅周辺だけでなく、国分寺駅や武蔵小金井駅方面への移動も見られる。
- ・ 日常的な買い物や通学を地域内で済ませていることも多い。
- ・ 買い物や通学、通勤において、路線バスの利用が多い地区である。
- ・ 自家用車の利用割合も多く、マイカー依存が生じている。
- ・ 自転車利用が多い地区であり、府中駅周辺の駐輪場に関する要望が他地区よりも多く挙げられている。

【課題】

- ・ 府中駅、国分寺駅、武蔵小金井駅周辺へのアクセス性の維持に向けた検討が必要である。
- ・ 自転車の利用環境の向上に向けた検討が必要である。

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「府中駅」の利用が最も多く、次いで「国分寺駅」「武蔵小金井駅」の利用も多い。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、自転車・路線バスが多く、雨天時は、路線バスを利用する割合がさらに高まる。
- ・ 一方、ちゅうバスの利用は見られなかった。

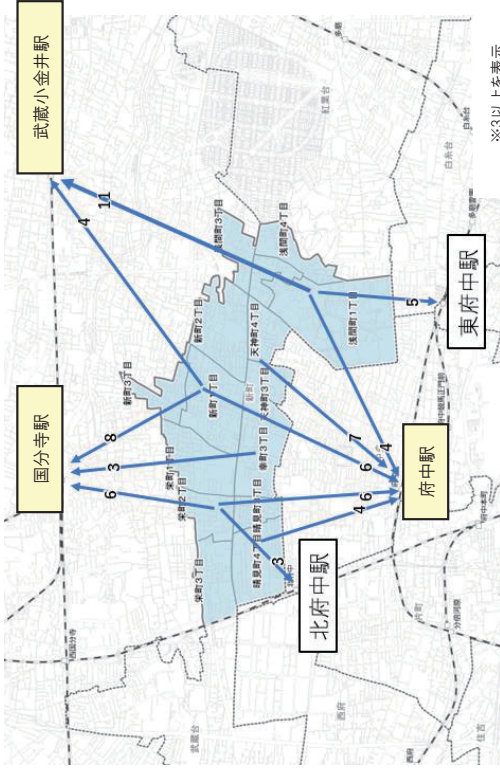


図 日常的に利用する駅

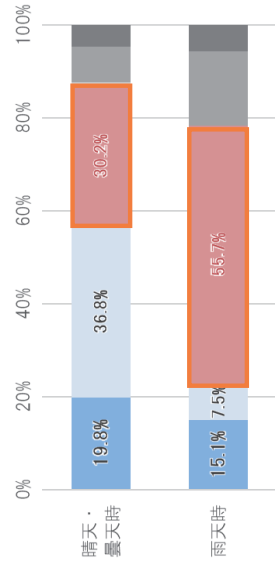


図 駅までの交通手段

地区別カルテ (⑥住吉文化センター圏域)

■地区現況

- 地区人口は26,746人（全市に占める割合10.3%）であり、中河原町駅圏域に特に集中している。
- 老年人口は6,233人、高齢化率は23.3%であり、府中市の中でもやや高齢化が進んでいる。
- 地区内には、路線バスが6路線、ちゅうバスが2路線運行しており、「府中駅」「分府河原駅」「聖蹟桜ヶ丘駅」「日野駅」「万願寺駅」にアクセスすることができるが、運行本数が少ない路線が複数ある。

【地区概要】

＜住吉エリア＞		＜府中市全体＞	
面積	2,914㎡	面積	29,434㎡
世帯	1,274世帯	世帯	126,160世帯
人口	26,746人	人口	260,232人
（全市に占める割合）	10.1%	人口	34,082人
人口	26,746人	人口	169,156人
（全市に占める割合）	10.3%	人口	65,076人
0～14歳	3,653人	人口	56,994人
15～64歳	13,717人	人口	29,604人
65歳以上	6,233人	人口	11,449人
75歳以上(再掲)	2,333人	人口	
世帯	1,274世帯	人口・世帯等の基礎日	
人口	26,746人	令和2年1月1日現在。	
（全市に占める割合）	10.3%	【出典】	
0～14歳	3,653人	住民基本台帳より。	
15～64歳	13,717人		
65歳以上	6,233人		
75歳以上(再掲)	2,333人		
世帯	1,274世帯		
人口	26,746人		
（全市に占める割合）	10.3%		
0～14歳	3,653人		
15～64歳	13,717人		
65歳以上	6,233人		
75歳以上(再掲)	2,333人		

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
所52 (東玉バス)	府中駅～分府河原駅 ～藤土の森総合体育館	3便 (土日祝のみ)
所53 (東玉バス)	日野駅～万願寺駅～ 分府河原駅	1便
中02、中03 (東玉バス)	中河原駅～聖蹟桜ヶ丘 ～分府河原駅	28便
分52 (東玉バス)	分府河原駅～藤土の森 総合体育館	27便
分54 (東玉バス)	新聖蹟2丁目～分府 河原駅	1便
所08 (東玉バス)	新聖蹟2丁目～中河 原駅	2便 (土日祝のみ)
ちゅうバス	ちゅうバス専用ルート 所52～府中駅	2便
四谷六丁目ルート (ちゅうバス)	中河原駅～四谷六丁 目～中河原駅	24便

■公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスは、「中河原駅」「南町交番車」となっている。一方、「聖蹟前」～「住吉町三丁目」・「住吉町四丁目」においては、利用が少ない。
- 市全体と比較すると、ちゅうバス・路線バスともに利用する割合がやや高い地域となっているが、「ちゅうバス・路線バスともに利用していない」割合も高い地域である。
- 公共交通の満足度をみると、22.0%が不満と回答しており、市全体と比べてやや割合が多い。
- 公共交通の不満点としては、「目的地までのバスがない」(32.8%)、「バスの本数が少ない」(26.6%)、「自転車の走行環境が悪い」(26.6%)であった。

【利用状況】

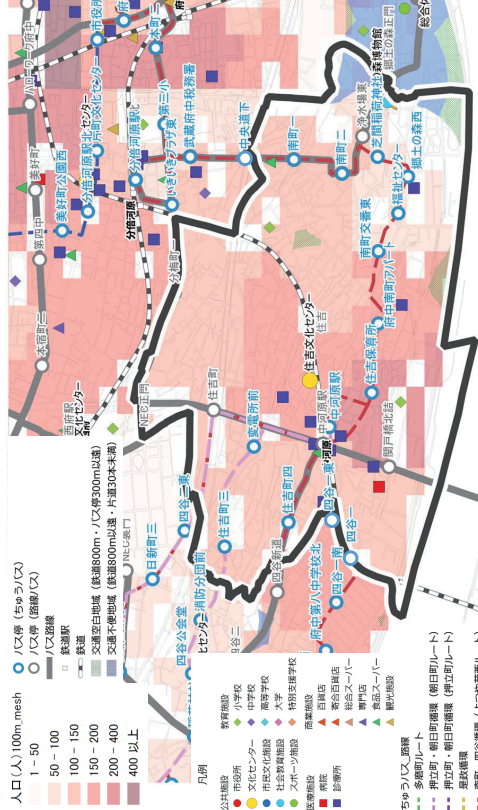
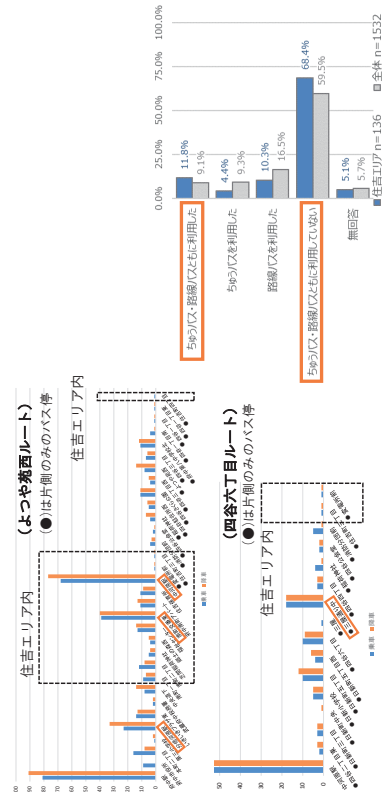


図 地区現況図 (人口、施設立地、運行ルート)

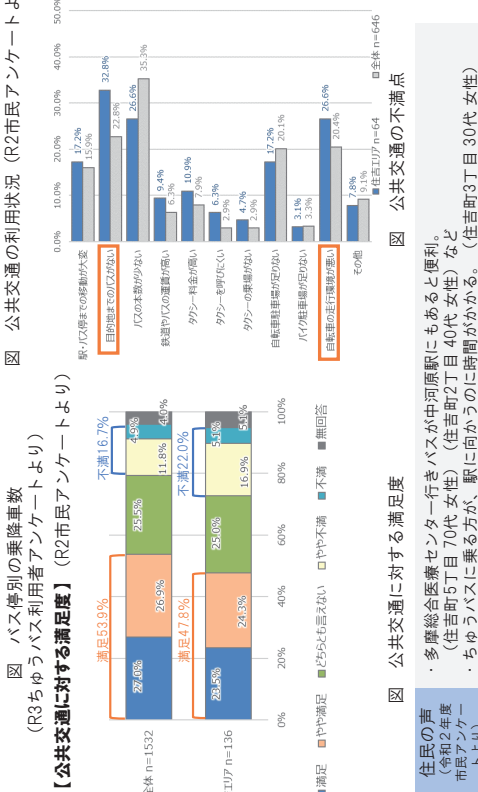


図 公共交通の満足度

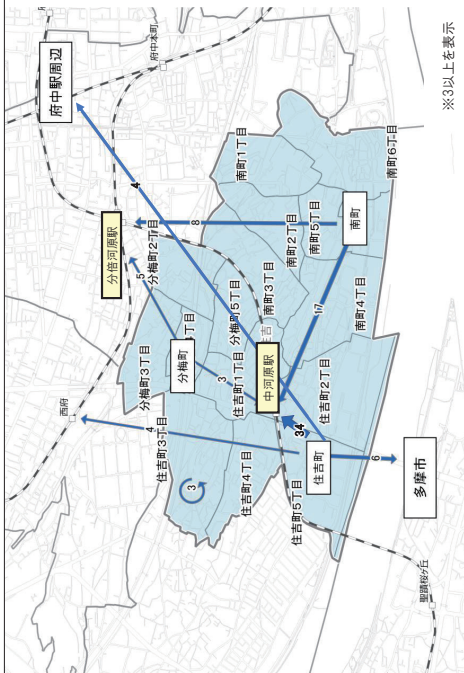
図 公共交通の不満点

地区別カルテ (©住吉文化センター圏域)

■移動特性 (R2市民アンケートより)

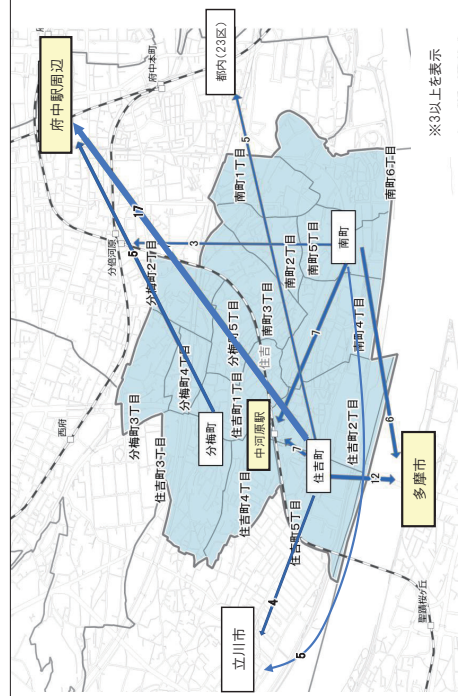
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「中河原駅周辺」「分倍原駅周辺」が多い。
- 住吉町からは「多摩市」への移動も一部見られる。
- 一方で、府中駅方面への移動は、比較的少ない。



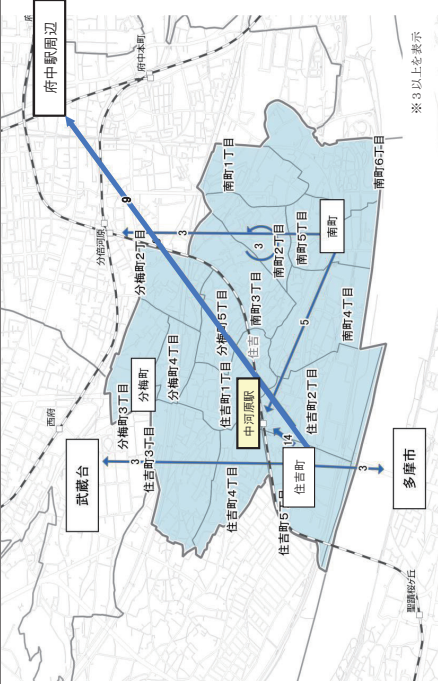
【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先としては、「府中駅周辺」「中河原駅周辺」への買い物が多い。
- 住吉町、南町からは「多摩市」「立川市」への移動も見られる。



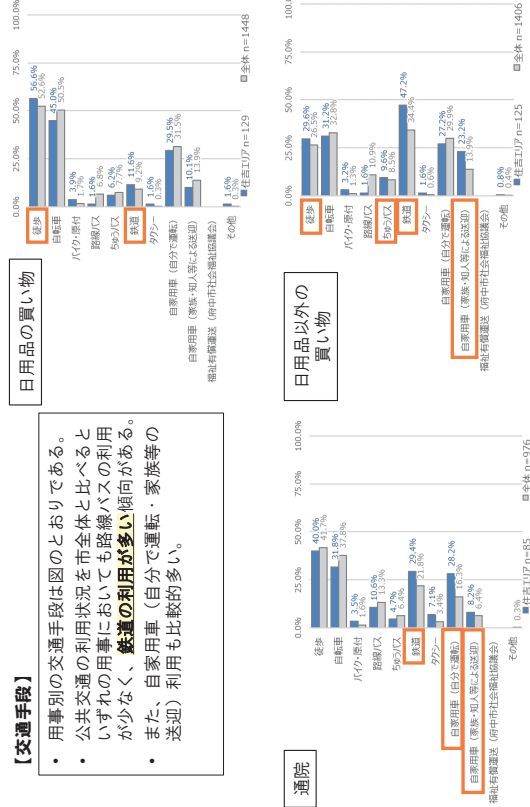
【通院】

- 通院先は、「中河原駅」「府中駅周辺」が多い。
- その他、「多摩市」「武蔵台(総合医療センター方面)」「分倍原駅周辺」への移動が見られる。
- 限定的ではあるが、南町内の地域内の通院も見られる。



【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べるといずれの用事においても路線バスの利用が少なく、徒歩の利用が多い傾向がある。
- また、自家用車(自分で運転・家族等の送迎)利用も比較的多い。



地区別カルテ (◎住吉文化センター圏域)

【通勤状況】

- ・ 約57%が「週に3回以上」、約6割が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 交通手段は、「徒歩(41.7%)」「鉄道(36.7%)」「自転車(30.0%)」となっており、**路線バス・ちゅうバス**の利用はほぼ見られない。
- ・ 通勤先は「**都内(調布市、立川市、世田谷区など)**」が**41.6%**、「**市内**」が**40.4%**と多い。



図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段

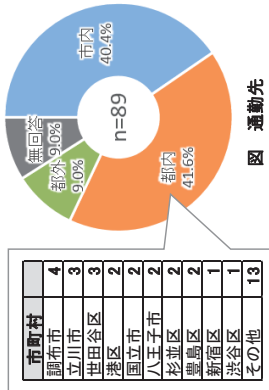


図 通勤先

■地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 中河原駅周辺や分倍河原駅周辺が生活圏となっており、府中駅方面への移動ニーズが比較的小さいが、ちゅうバスが当エリアから府中駅まで運行されており、非効率的な運行ルートとなっている可能性がある。
- ・ また、府中駅へは鉄道（京王線）によるアクセスも可能であり、10分に1本程度の頻度で運行している。
- ・ 一部、武蔵台（総合医療センター）方面への通院がみられ、武蔵台方面への公共交通アクセスの悪さについても意見が挙げられている。

【課題】

- ・ 住吉エリア～府中駅間の移動ニーズを踏まえ、ちゅうバスの運行ルートの見直し検討が必要である。
- ・ 住吉エリアから武蔵台方面へのアクセス性の向上に向けた検討が必要である。

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「**中河原駅**」の利用が最も多く、次いで「**分倍河原駅**」の利用も一定程度見られる。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、**徒歩・自転車**が多い。雨天時は、ちゅうバスを利用する割合が上がる。

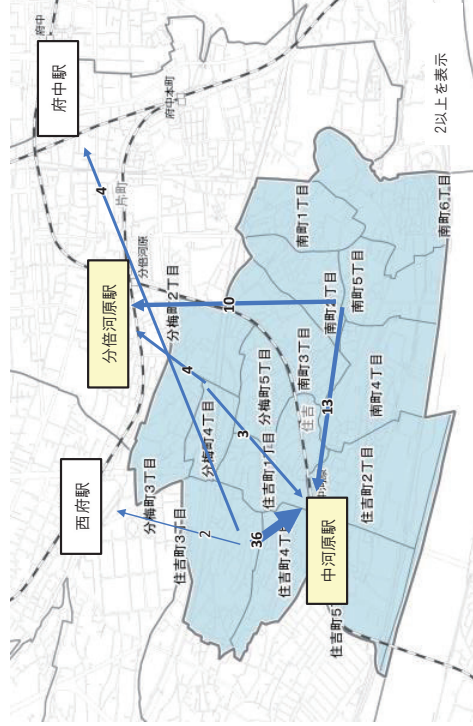
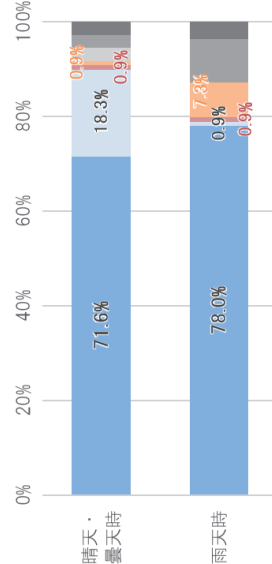


図 日常的に利用する駅



■ 徒歩 ■ 自転車 ■ 路線バス ■ ちゅうバス ■ バイク・原付 ■ その他 ■ 無回答

図 駅までの交通手段

地区別カルテ (⑦是政文化センター圏域)

■地区現況

- 地区人口は23,613人(全市に占める割合9.1%)であり、是政駅周辺や東府中駅周辺に特に集中している。
- 老年人口は5,328人、高齢化率は22.6%であり、市全体に比べてやや高い高齢化率となっている。
- 地区内には、路線バスが1路線、ちゅうバスが2路線運行しており、「府中駅」にアクセスすることができる。一方で「東府中駅」「多摩園駅」へのアクセスするバスはない。

【地区概要】

<是政エリア>

項目	人口・世帯等	面積	人口・世帯等
小幡2.4~5丁目、清水が丘・汀目、栗原	29,433人	29.43km ²	世帯
世帯	126,160世帯	人口	260,232人
0~14歳	34,082人	13.1%	15~64歳
15~64歳	168,156人	65.0%	65歳以上
65歳以上	56,994人	21.9%	75歳以上(再掲)
75歳以上(再掲)	29,604人	11.4%	
3区分人口	5,328人	64.2%	
55歳以上	5,328人	22.6%	
75歳以上(再掲)	2,643人	11.2%	

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
府61 (東王バス)	伊中野~是政 ~相模市立橋	1便
是政循環バス(ちゅうバス)	是政駅~府中駅	28便
押立町ルート(ちゅうバス)	武蔵野台駅~府中駅	22便

【人口・世帯等の基準日】
令和2年1月1日現在。
【出典】
住民基本台帳より。

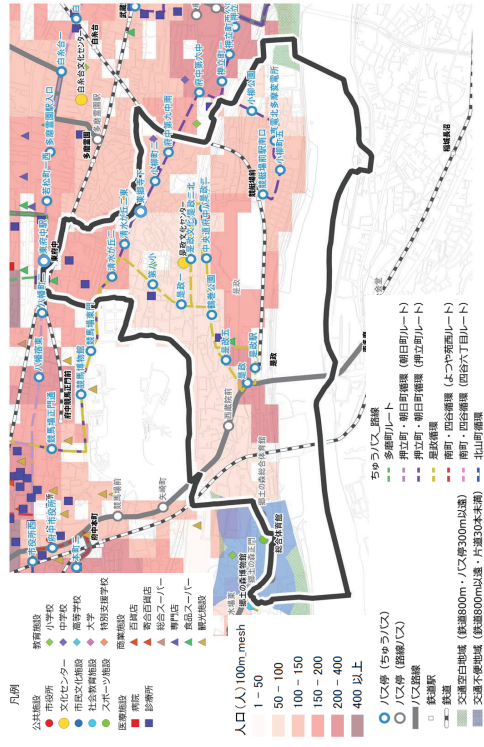


図 地区現況図(人口、施設立地、運行ルート)

■公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスのバス停は、「舞臺公園」~「是政駅」間や「是政一丁目」となっている。一方、「是政二丁目北」「真浄寺下」は、比較の利用が少ない。
- 市全体と比較すると、ちゅうバスの利用が多い地域となっている。また、「ちゅうバス」路線バスともに利用した人も多い。
- 公共交通の満足度をみると、27.3%が不満と回答しており、不満の割合が高い。
- 公共交通の不満点としては、「バスの本数が少ない(62.9%)」「自転車駐輪場が足りない(30.6%)」「駅・バス停までの移動が大変(19.4%)」であった。

【利用状況】

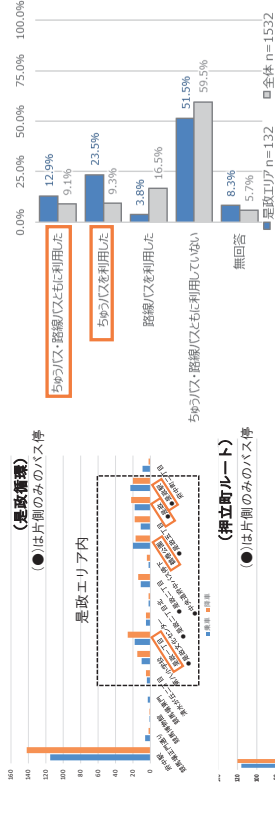


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

【公共交通に対する満足度】 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)



図 公共交通に対する満足度

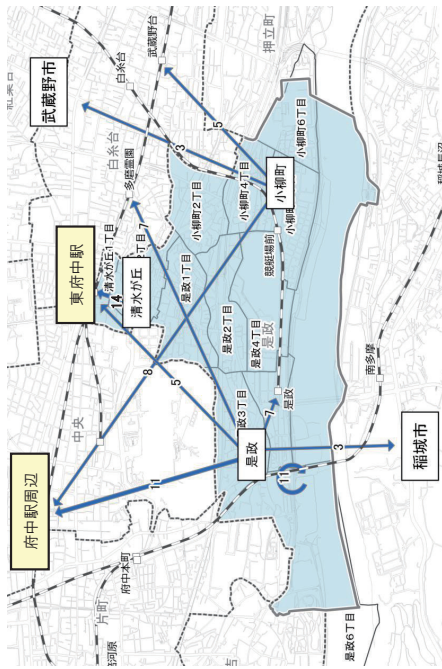
- ちゅうバスは混雑する時間帯を対象に増発してほしい。(小幡2丁目 20代 男性)
- 令和2年度 市民アンケート (是政4丁目 50代 男性) (是政 20代 女性)
- ちゅうバスの運行時間帯を拡充してほしい。(小幡5丁目 60代 女性)
- 雨天のときや買い物量が多いときなど、高齢者はタクシーを利用することができる。
- 是政文化センターでイベントがあっても移動手段がなく、高齢者は参加できない。

地区別カルテ (〇是政文化センター圏域)

■移動特性 (R2市民アンケートより)

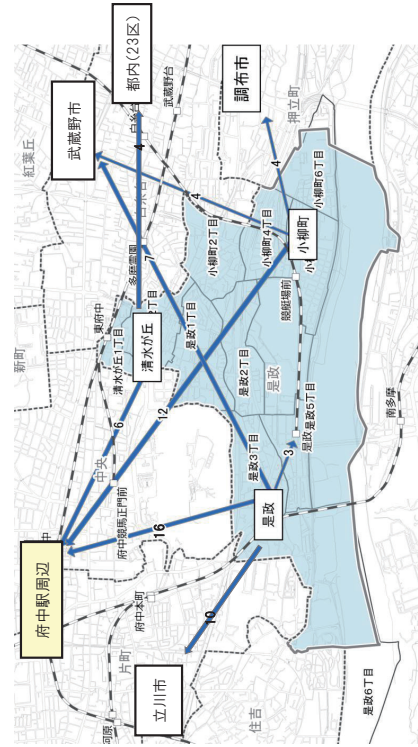
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「府中駅周辺」「東府中駅周辺」「武蔵野駅周辺」が多い。
- その他、「是政内」「多摩霊園駅周辺」「是政駅周辺」「武蔵野駅周辺」への移動も見られる。
- 市外への移動としては、小柳町から「武蔵野市」、是政から「稲城市」への移動も見られる。



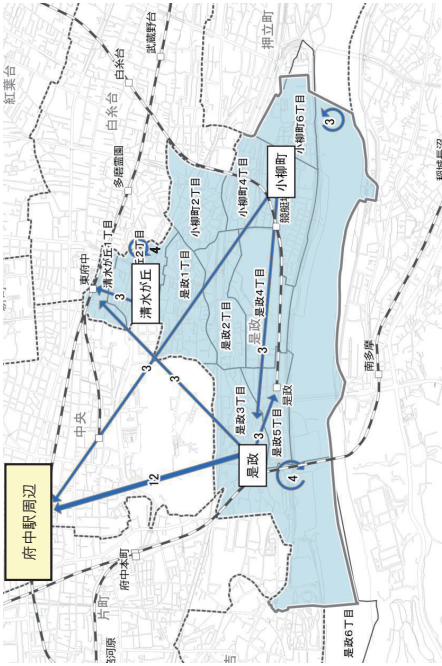
【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先としては、「府中駅周辺」「武蔵野市」が多い。
- 一部、小柳町から「調布市」、是政から「立川市」への移動も見られる。



【通院】

- 通院先は、「府中駅周辺」や「東府中駅」が多い。
- 是政からは是政駅、小柳町からは是政、是政内・小柳町内での通院といった地域内の通院も見られる。

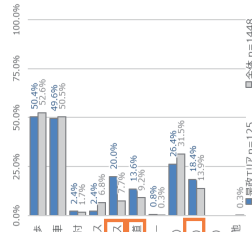


※ 3以上を表示

日用品の買い物

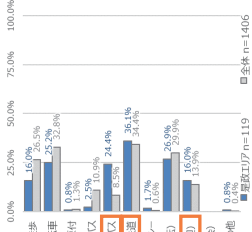
- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- すべての用事において、**ちゅうバス・徒歩**の利用率が比較的高い。特にちゅうバスは2割以上の方が利用している。

- 日用品の買い物、通院においては、**徒歩・自転車**が多い。
- その他、市全体と比べると、**自家用車**(自分で運転)が低い一方、**自家用車**(家族等の送迎)の利用が多く、**地区内に交通弱者が多い可能性**がある。



日用品以外の買い物

- 日用品以外の買い物においては、**徒歩**の利用率が最も高い。
- 自家用車(自分で運転)の利用は、市全体と比べると低い。
- 自家用車(家族等の送迎)の利用は、市全体と比べると高い。



地区別カルテ (〇是政文化センター圏域)

【通勤状況】

- ・ 約46%が「週に3回以上」、約5割が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 交通手段は、「自転車(39.8%)」「鉄道(35.9%)」「徒歩(25.5%)」の順で多い。
- ・ 市全体と比べて、ちゅうバス利用(20.8%)が多い。一方で、路線バスの利用は極めて少ない。
- ・ 通勤先は約5割が「都内(主に23区)」、約4割が「市内」であった。

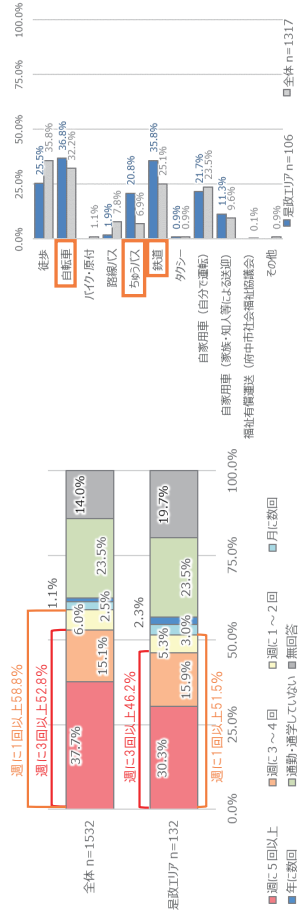
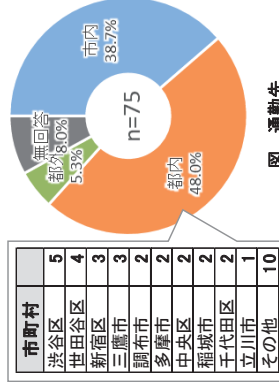


図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段



■地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 鉄道やちゅうバスによってアクセスが確保されている「府中駅周辺」「武蔵野市方面」への移動が多い。
- ・ 地区南部より府中駅周辺にアクセスしている公共交通はちゅうバスのみとなっている。
- ・ 日用品の買い物、通院において地区南部より「東府中駅」「多摩霊園駅」への移動も見られるが、両駅につながる公共交通がなく、アクセスが確保されていない。

【課題】

- ・ 府中駅周辺や武蔵野市方面へのアクセス性の維持に向けた検討が必要である。
- ・ 一部利用が見られる「東府中駅」「多摩霊園駅」へのアクセス性の確保の検討が必要である。

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「是政駅」が多く、「競艇場前駅」「東府中駅」「多摩霊園駅」の利用も多い。また、「府中駅」、「武蔵野台駅」の利用も一定程度見られる。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、徒歩・自転車が多い。雨天時は、ちゅうバスを利用する割合がやや高まる。

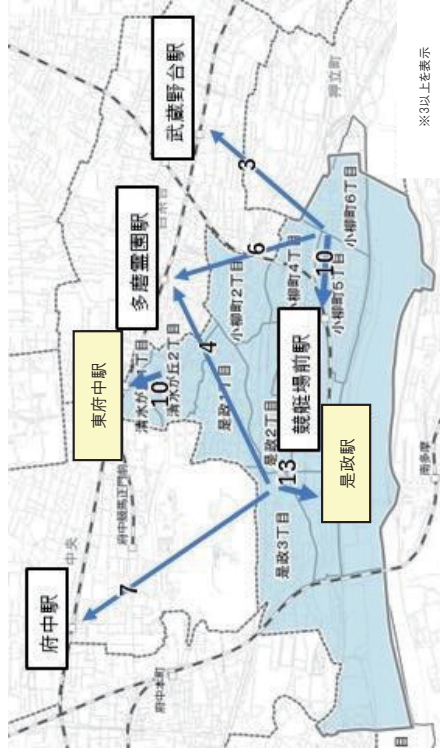


図 日常的に利用する駅

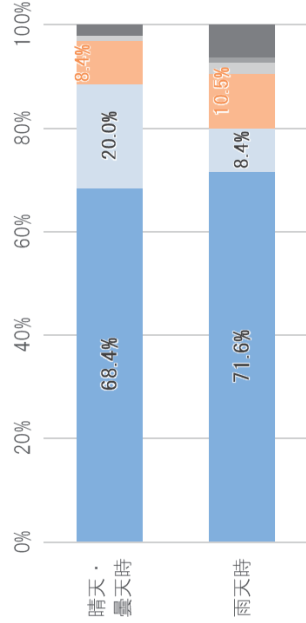


図 駅までの交通手段

地区別カルテ (⑧紅葉丘文化センター圏域)

■地区現況

- 地区人口は23,523人(全市に占める割合9.0%)であり、西武多摩川線沿線に特に集中している。
- 地区北西部と南東部は、非居住地(多摩霊園、運動場)となっている。
- 老年人口は4,823人、高齢化率は20.5%であり、府中市全体と比べてやや低い高齢化率である。
- 地区内には、路線バスが6路線、ちゅうバスが2路線運行しており、「**府中駅**」「**東府中駅**」「**武蔵小金井駅**」「**武蔵野台駅**」「**多摩野台駅**」「**三鷹駅**」にアクセスすることができる。

【地区概要】

<紅葉丘エリア>

面積	人口・世帯等
4,144㎡	人口・世帯等
多摩野、朝日	29,433㎡
多摩野、朝日	126,160世帯
多摩野、朝日	260,232人
経緯3-5丁目	
世帯	11,402世帯
(全市に占める割合)	9.0%
人口	23,523人
(全市に占める割合)	9.0%
3区分	3,108人
人口	15,992人
15~64歳	66.3%
65歳以上	4,823人
75歳以上(高齢)	20.5%
	2,493人
	10.6%

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
府中	東府中駅~	54便
府中	武蔵小金井駅南口	43便
府中	多摩野駅~	43便
府中	武蔵小金井駅南口	43便
府中	三鷹駅~	12便
府中	東武池袋線	6便
府中	多摩野駅~	29便
府中	府中駅北口	29便
府中	多摩野駅~	43便
府中	多摩野駅	22便
府中	朝日町ルート	22便
府中	朝日町ルート	22便
府中	朝日町ルート	22便
府中	朝日町ルート	22便

【人口・世帯等の基準日】
令和2年1月1日現在。
【出典】
住民基本台帳より。

凡例

- 公共施設
- 市役所
- 文化センター
- 中学校
- 高等学校
- 大学
- 社会教育施設
- スポーツ施設
- 商業施設
- 百貨店
- 食品スーパー
- 郵便局
- 診療所

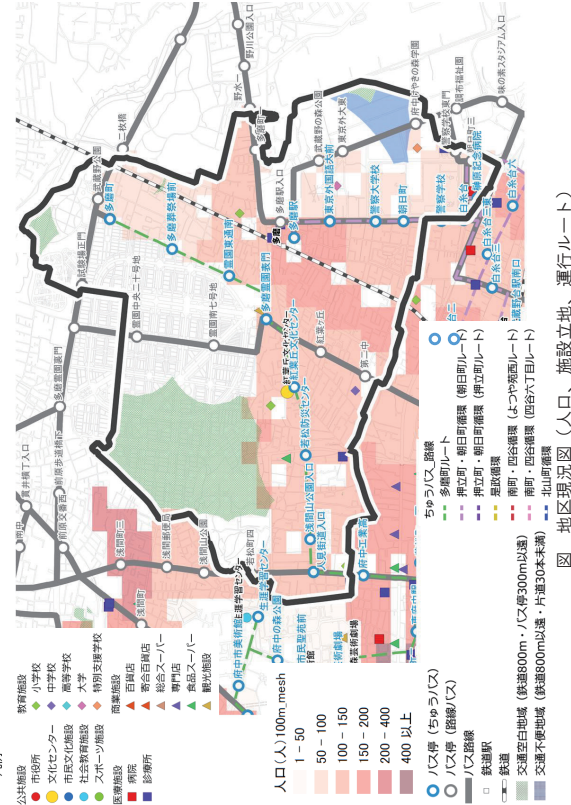


図 地区現況図(人口、施設立地、運行ルート)

■公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスは、「多摩野駅」や「若松防災センター」~「多摩野霊園」となっている。一方、「警察大学校」「浅間公園入口」「人見街道入口」においては、比較の利用が少ない。
- 市全体と比較すると、ちゅうバス、路線バスともに利用している割合が高い地域となっている。
- 公共交通の満足度をみると、約2割が不満と回答しており、市全体と比べてやや割合が多い。
- 公共交通の不満点としては、「バスの本数が少ない(47.5%)」「駅・バス停までの移動が大変(22.0%)」「自転車駐車場が足りない(22.0%)」「自転車の走行環境が悪い(22.0%)」であった。

【利用状況】

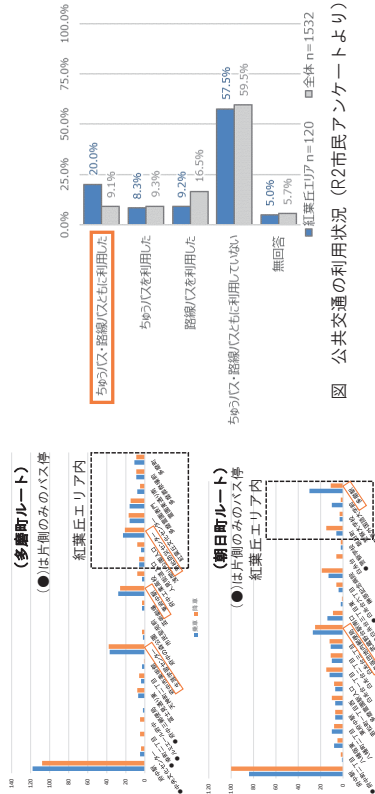


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

バス停別の乗降車数 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

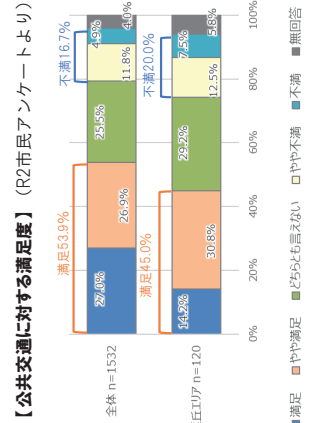


図 公共交通に対する満足度 (R2市民アンケートより)

公共交通の不満点

- ちゅうバスの本数が少ない(朝日町2丁目 80代男性)
- 朝日町2丁目 80代女性
- 市民アンケート(下より)
- 近く大きなスーパーがなく、高齢者は、肉や魚などの生鮮食品の入手が困難。
- 働いているお母さんも多いので、自家用車までとめて1週間分の買い物をすることが多い。

公共交通に対する満足度

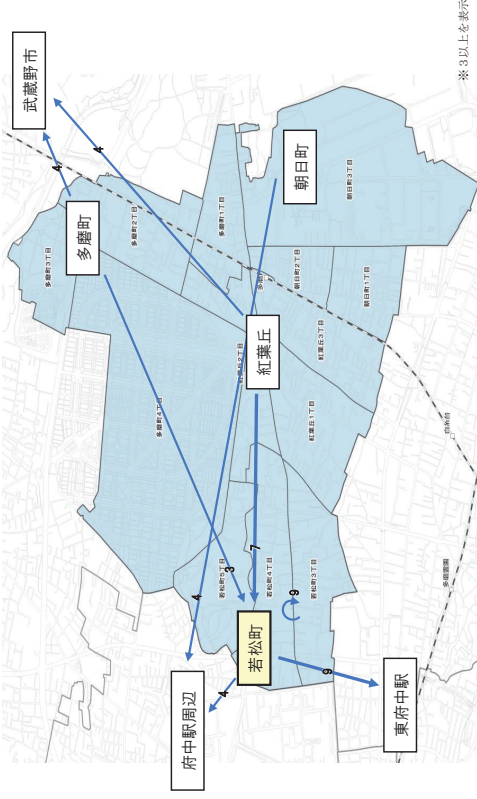
- 市民アンケート(令和2年度)
- 朝日町2丁目 20代男性
- 朝日町2丁目 80代女性
- 市民アンケート(下より)
- 近く大きなスーパーがなく、高齢者は、肉や魚などの生鮮食品の入手が困難。
- 働いているお母さんも多いので、自家用車までとめて1週間分の買い物をすることが多い。

地区別カルテ (⑧紅葉丘文化センター圏域)

■移動特性 (R2市民アンケートより)

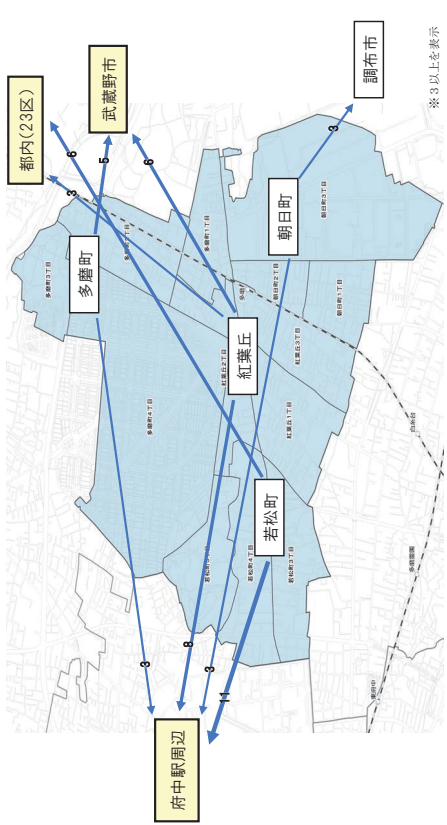
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「若松町内」が多い。
- 若松町からは「東府中駅周辺」への移動も見られる。
- 多磨町から「武蔵野市」への移動も見られる。



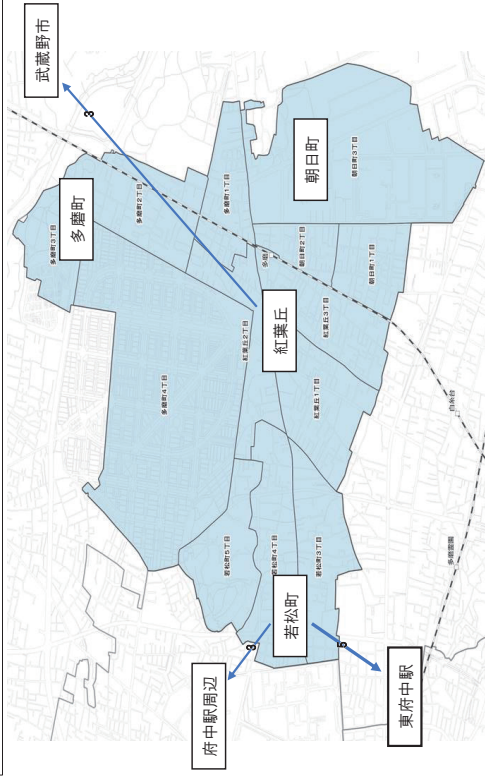
【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先としては、「府中駅周辺」が多い。
- 西武多摩川線沿線から「武蔵野市」への移動もみられる。
- 若松町から「都内(23区)」への移動も見られる。



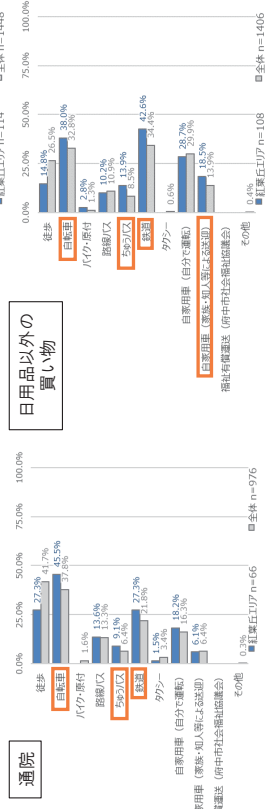
【通院】

- 通院先としては、若松町から「府中駅周辺」「東府中駅周辺」「紅葉丘から「武蔵野市」が多い。



【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べると、**自転車・徒歩・ちゅうバスの利用が多い傾向がある。**
- その他、市全体と比べると**自家用車(家族等の送迎)が多く、交通弱者が比較的多い地区**であると考えられる。



地区別カルテ (⑧紅葉丘文化センター圏域)

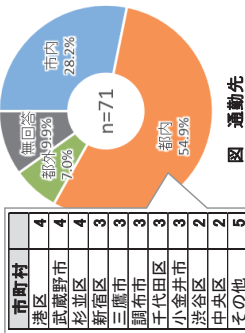
【通勤状況】

- ・ 約51%が「週に3回以上」、約56%が「週に1回以上」の通勤をしており、市全体と同程度の割合となっている。
- ・ 交通手段は、「自転車(46.0%)」「徒歩(30.0%)」「鉄道(23.0%)」「徒歩(23.0%)」となっている。また、13.0%が通勤に「ちゅうバス」を利用しており、市全体と比べて高い割合となっている。
- ・ 通勤先は「郷内(武蔵野市、杉並区、港区)」が多く、市内に勤務している割合は28.2%であった。



図 通勤の頻度

図 通勤先



■地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 鉄道やちゅうバスによって府中駅や東府中駅、武蔵境駅等へのアクセスが確保されている。
- ・ 日常的な買い物はエリア内で済ませ、通院やそれ以外の買い物時に「府中駅周辺」「武蔵野市」まで移動する傾向があるが、日常的に府中駅まで移動する機会は比較的小さい可能性がある。
- ・ ちゅうバスの利用が比較的多い一方で、「バスの本数が少ない」ことが不満点として挙げられている。
- ・ 自転車の利用率が高い一方で、駐輪場不足や自転車走行環境に関する不満点も挙げられている。

【課題】

- ・ 若松町(東府中駅方面)へのアクセス性の維持、需要に応じた運行サービス拡充の検討が必要である。
- ・ 紅葉丘エリア～府中駅間の移動ニーズを踏まえた、ちゅうバス運行ルートの見直し検討が必要である。
- ・ 快適な自転車利用環境の実現に向けた検討が必要である。

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「多磨駅」の利用が多く、紅葉丘1丁目からは「多磨霊園駅」の利用も見られる。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、徒歩・自転車が多い。雨天時は、路線バス・ちゅうバスを利用する割合が高まる。

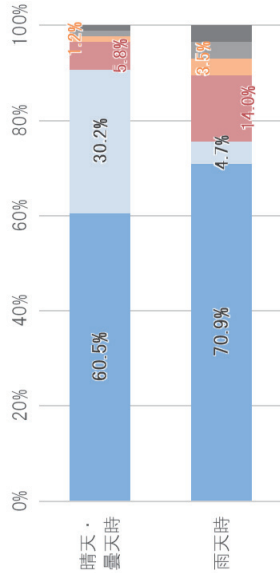
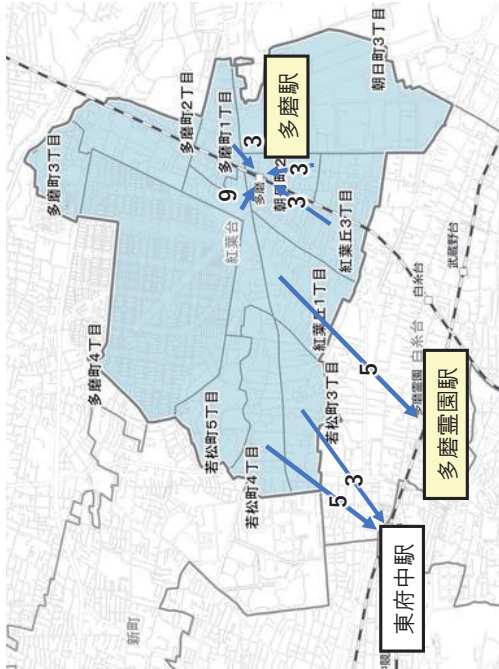


図 駅までの交通手段

地区別カルテ (⑨) 押立文化センター圏域

■ 地区現況

- 地区人口は9,822人(全市に占める割合3.8%)であり、車返団地のある地区北西部に特に集中している。
- 老年人口は2,799人、高齢化率は28.5%であり、府中市の中でも高齢化が進んでいる。
- 地区内には、路線バスが2路線、ちゅうバスが1路線運行しており、「府中駅」「武蔵野駅」「調布駅」「三鷹駅」にアクセスすることができる。

【地区概要】

人口・世帯等		人口・世帯等	
＜押立エリア＞		＜府中市全体＞	
面積	1.31km ²	面積	29,438m ²
世帯	4,413世帯	世帯	126,160世帯
人口	9,822人	人口	260,232人
人口(全市に占める割合)	3.9%	人口	34,082人
人口(全市に占める割合)	3.8%	人口	189,156人
0～14歳	1,206人	0～14歳	13.1%
15～64歳	12,391人	15～64歳	65.0%
65歳以上	5,817人	65歳以上	21.9%
75歳以上(再掲)	2,799人	75歳以上(再掲)	29,604人
人口	28.5%	75歳以上(再掲)	11.4%
人口	1,203人		
	12.2%		

【人口・世帯等の基準日】
令和2年1月1日現在。
【出典】住民基本台帳より。

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
調51 (東玉バス)	調布駅前 車返団地 折返場	3便
調52 (小田急バス)	三鷹駅～ 車返団地 など	12便
押立町ルート (ちゅうバス)	武蔵野台 ～府中 駅	22便

■ 公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスのバス停は、「押立町西公園」～「押立神社」間となっている。一方、「府中東高校」～「車返団地」間においては、比較的使用が少ない。
- 市全体と比較すると、ちゅうバスの利用が多く、路線バスの利用が少ない地域となっている。
- 公共交通の満足度をみると、20.5%が不満と回答しており、市全体と比べてやや割合が多い。
- 公共交通の不満点としては、「バスの本数が少ない(48.3%)」「目的地までのバスがない(27.6%)」「自転車駐車場が足りない(24.1%)」であった。

【利用状況】

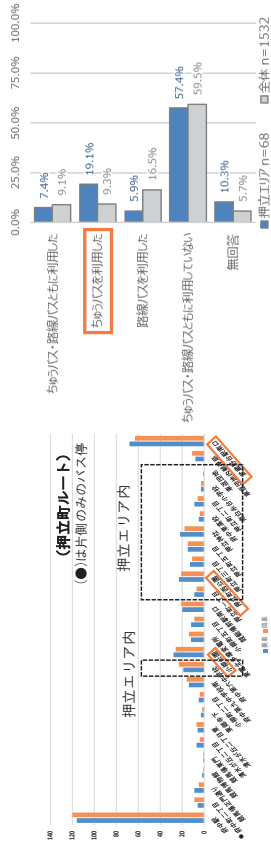


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

図 バス停別の乗降車数 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

【公共交通に対する満足度】(R2市民アンケートより)

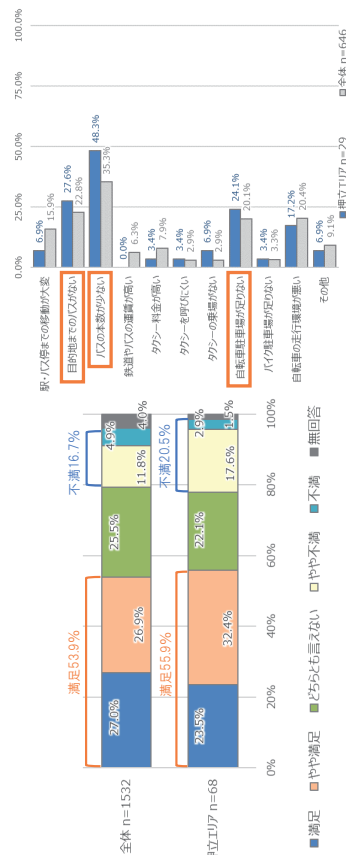


図 公共交通の不満点

図 公共交通に対する満足度

住民の声	公共交通の不満点
・ちゅうバスが満員状態のことがあり、年配の方がずっと立っていただけないことが多い。(40代 男性)	・目的地までのバスがない
・20時台までちゅうバスが走行していたら、通勤で利用できる。(30代 女性)	・自転車の走行距離が長い
・高齢者の徒歩圏にスーパーマーケット等がなく、困っている。	・目的地までの移動が大変
・調布方面に行くバスが廃止されて不便を感じている。	・バスの本数が少ない

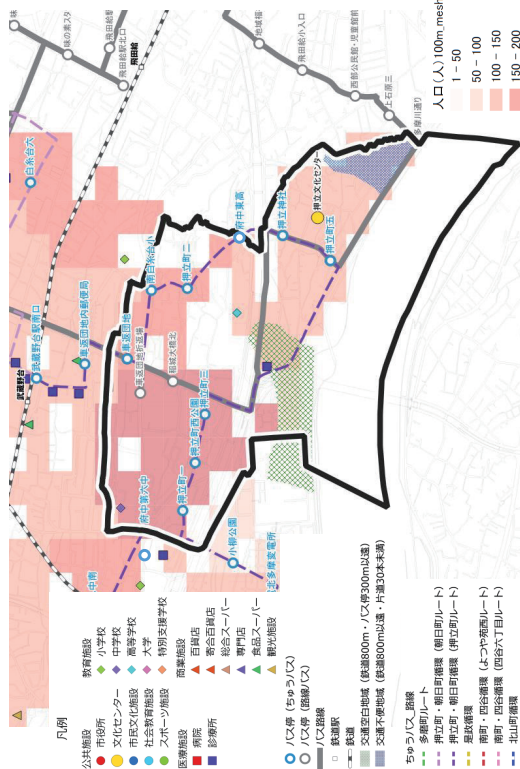


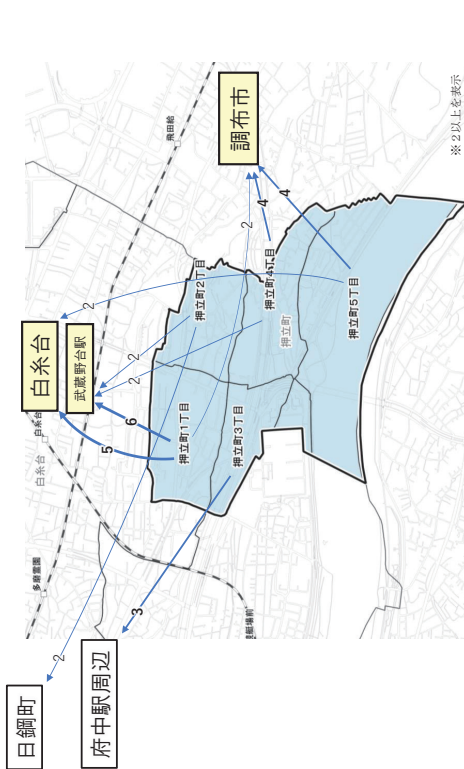
図 地区現況図(人口、施設立地、運行ルート)

地区別カルテ (㊟押立文化センター圏域)

移動特性 (R2市民アンケートより)

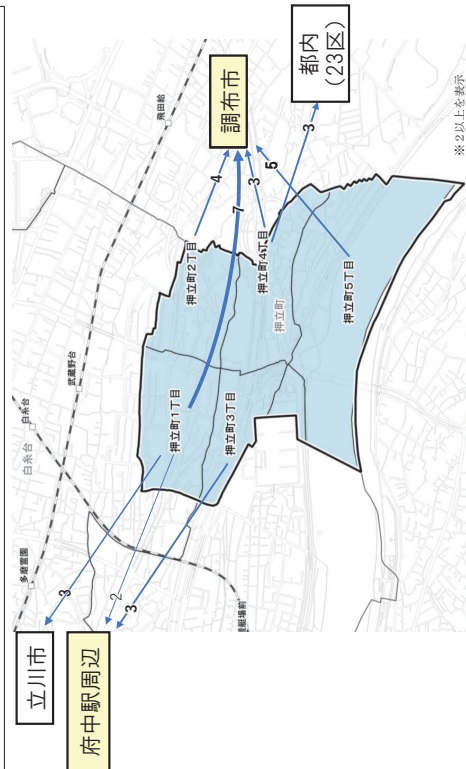
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「武蔵野駅周辺」「白糸台」が多い。
- 市界辺部である押立4丁目・5丁目から「調布市」への移動も見られる。
- 一方で、府中駅方面への移動は、比較的少ない。



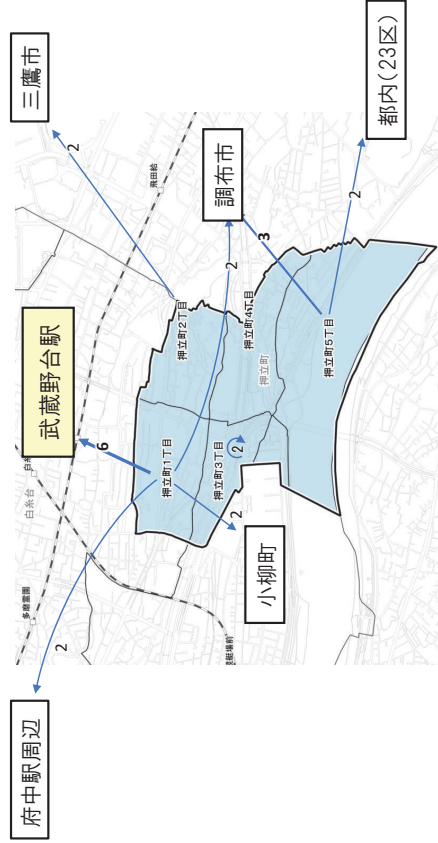
【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先としては、「調布市」が多い。
- 地区西部からは「府中駅周辺」「立川市」への移動も見られる。



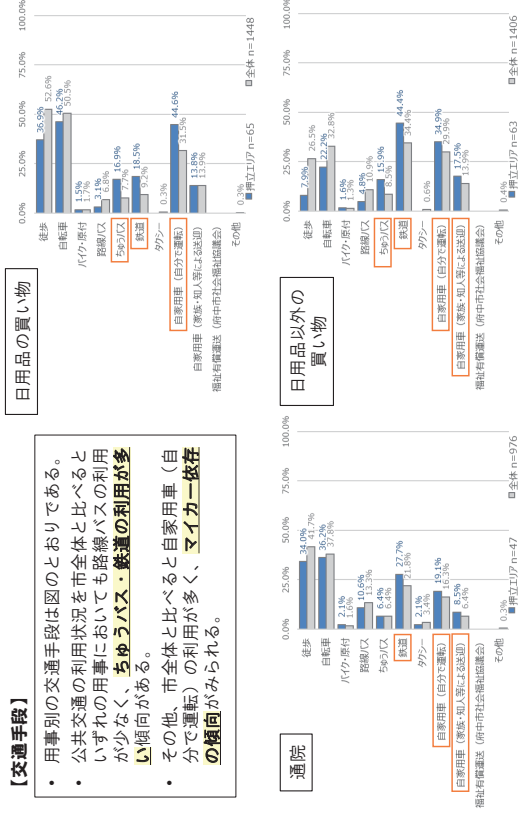
【通院】

- 通院先は、「武蔵野駅」や「調布市」が多い。
- その他、「府中駅周辺」や「三鷹市」等への移動が見られる。
- 限定的ではあるが、押立3丁目から押立4丁目といった地域内の通院も見られる。



【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べるといずれの用事においても路線バスの利用が少なく、ちゅうバス・鉄道の利用が多い傾向がある。
- その他、市全体と比べると自家用車（自分で運転）の利用が多く、マイカー依存の傾向がみられる。



地区別カルテ (9) 押立文化センター圏域

【通勤状況】

- ・ 約5割が「週に3回以上」、約56%が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 市全体と比べると「通勤・通学していない (25.0%)」の割合が多い。
- ・ 交通手段は、「鉄道 (50.0%)」「徒歩 (32.5%)」「自転車 (27.5%)」となっており、「路線バス・ちゅうバス」の利用はほぼ見られない。
- ・ 通勤先は「都内 (調布市、港区、千代田区など)」が多く、市内に勤務している割合は15.0%であった。

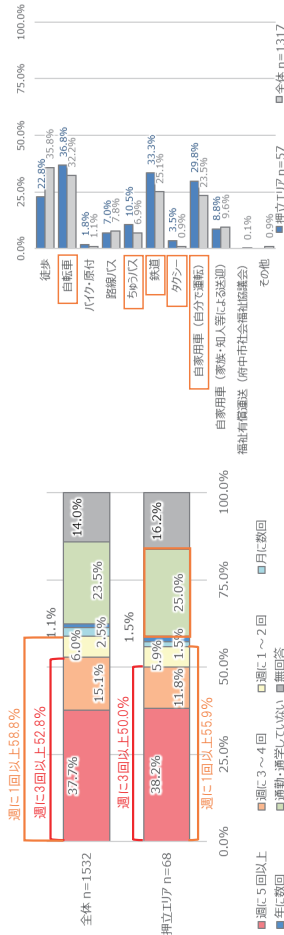
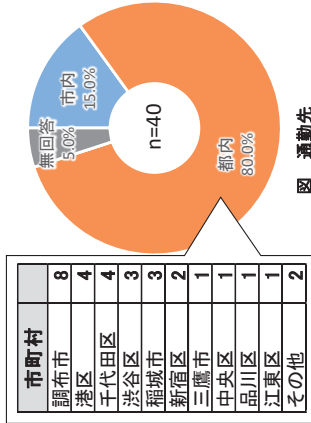


図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段



■ 地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 府中駅方面への移動ニーズが比較的少ないが、ちゅうバスが当エリアから府中駅まで運行されており、非効率的な運行ルートとなっている可能性がある。
- ・ 一方で、移動ニーズの多い「調布市方面」に対して、交通サービスが不十分である可能性がある。

【課題】

- ・ 押立町エリア～府中駅間の移動ニーズを踏まえた、ちゅうバス運行ルートの見直し検討が必要である。
- ・ 地区東部から調布市方面へのアクセス性の向上に向けた検討が必要である (調布市との広域連携)。

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「武蔵野台駅」の利用が最も多く、次いで「飛田給駅」の利用も一定程度見られる。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、徒歩・自転車が多い。雨天時は、路線バス・ちゅうバスを利用する割合が高まる。

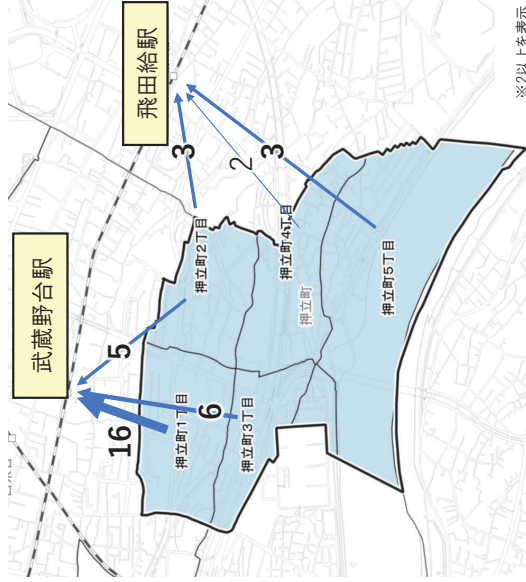


図 日常的に利用する駅

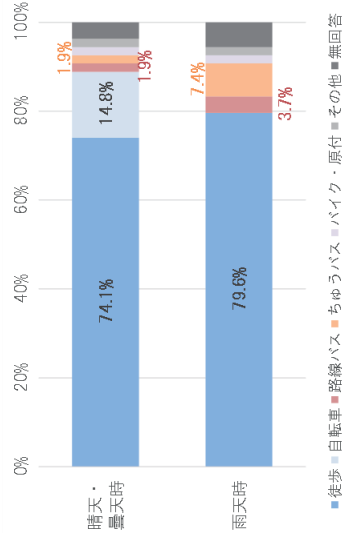


図 駅までの交通手段

地区別カルテ (四谷文化センター圏域)

地区現況

- 地区人口は13,141人（全市に占める割合5.1%）であり、地区南東部（四谷1丁目）に特に集中している。
- 老年人口は2,742人、高齢化率は20.9%であり、府中市全体と比べてやや低い高齢化率である。
- 地区内には、路線バスが6路線、ちゅうバスが2路線運行しており、「国立駅」「聖隷桜ヶ丘駅」「中河原駅」「分倍河原駅」「府中駅」にアクセスすることができる。
- ちゅうバスは、片方向循環ルートで運行されている。

【地区概要】

<四谷エリア>

世帯	人口・世帯等
面積	1.87km ²
地域	四谷、日新町5丁目の一部
世帯	5,688世帯
(全市に占める割合)	4.4%
人口	13,141人
(全市に占める割合)	5.1%
0-14歳	2,103人
15-64歳	8,298人
65歳以上	2,742人
75歳以上(高齢)	1,489人
※高齢者・世帯・人口は日新町5丁目を まで含まない。	1,489人
	11.3%

<府中市全体>

面積	人口・世帯等
面積	29.43km ²
世帯	126,160世帯
人口	260,232人
0-14歳	34,082人
15-64歳	168,156人
65歳以上	65,094人
75歳以上(高齢)	29,604人
11.4%	

【人口・世帯等の基準日】
令和12年1月1日現在。
【出典】住民基本台帳より。

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
桜08 (京王バス)	新聖高2丁目~中河原駅 ~聖隷桜ヶ丘駅	2便 ※土日祝
桜19 (京王バス)	国立聖高ロー~日新町二丁目 目~聖隷桜ヶ丘駅	96便
中03 (京王バス)	中河原駅~NEC日吉町~ 新聖高2丁目	4便
分54 (京王バス)	新聖高2丁目~分倍河原 駅	1便
桜18 (京王バス)	新聖高2丁目~聖隷桜ヶ丘駅	2便
桜19 (京王バス)	新聖高2丁目~日新町五丁目 ルズ前~聖隷桜ヶ丘駅	9便
ちゅうバス ルート (ちゅうバス)	ちゅうバス ルート	21便
四谷1丁目 ルート (ちゅうバス)	中河原駅~四谷1丁目~ 中河原駅	24便

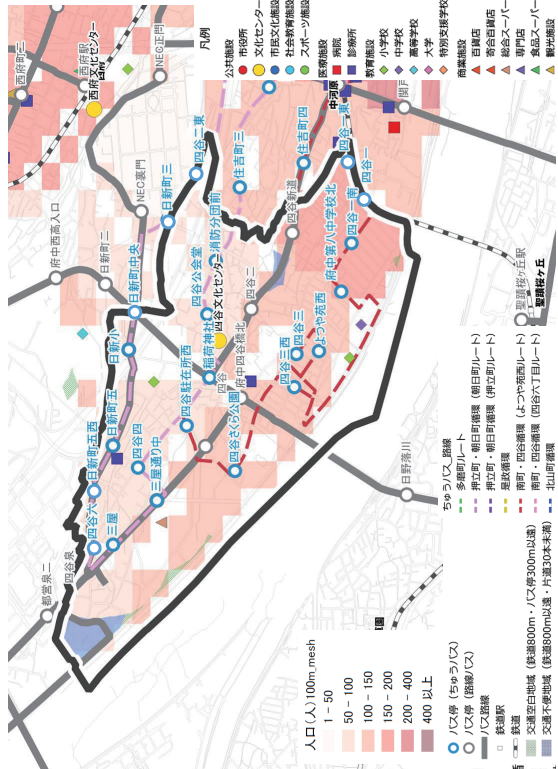


図 地区現況図(人口、施設立地、運行ルート)

公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスのバス停は、「四谷さくら公園」「よつや苑西」「三層通り中」「府中第八中学校北」となっている。一方、「四谷一丁目」「四谷一丁目東」「四谷公会堂」「三層」においては、比較的利用が少ない。
- 市全体と比較すると、ちゅうバス・路線バスの利用が多い地域となっている。
- 公共交通の満足度をみると、18.3%が不満と回答しており、市全体と比べてやや割合が多い。
- 公共交通の不満点としては、「バスの本数が少ない(53.8%)」「駅・バス停までの移動が大変(23.1%)」「目的地までのバスがない(23.1%)」「自転車の走行環境が悪い(23.1%)」であった。

【利用状況】

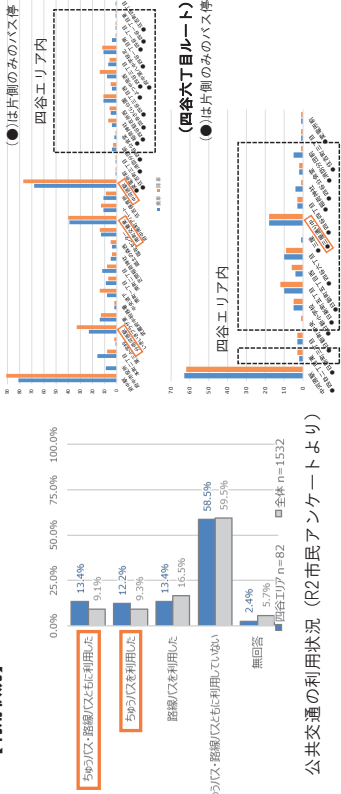


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

バス停別の乗降車数 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

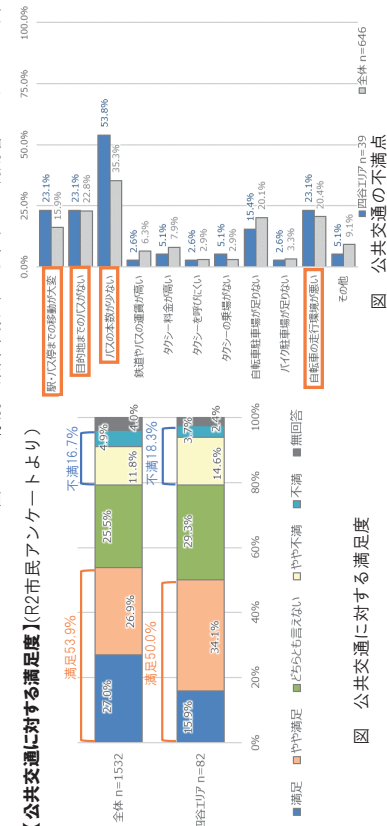


図 公共交通の不満点

公共交通に対する満足度

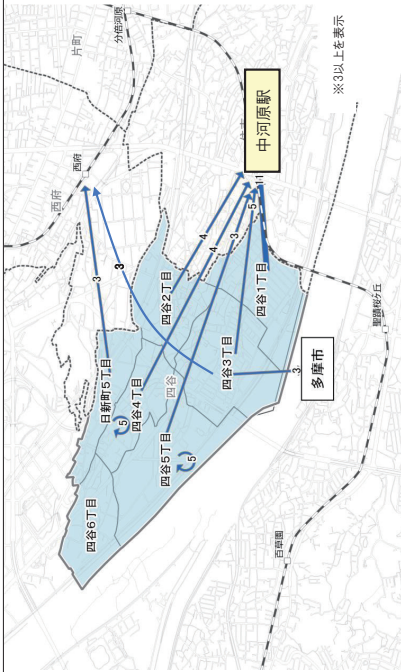
- 住民の声 (令和2年度市民アンケートより)
- 電車とバスの乗り継ぎがうまく合わない。(四谷4丁目70代 男性)
 - 6時から8時ちゅうバスが走っていると便利です。(四谷3丁目20代 男性)
 - 中河原駅周辺の自転車駐輪場が少ないです。(四谷5丁目70代 女性)
- 民生委員アンケート
- 西府駅から路線バスで多摩総合医療センターに行きたいが、ちゅうバスが西府駅を通らないので不便。
 - ちゅうバスは、反対回りがないので、帰りは時間がかかってしまう。

地区別カルテ (⑩四谷文化センター圏域)

■移動特性 (R2市民アンケートより)

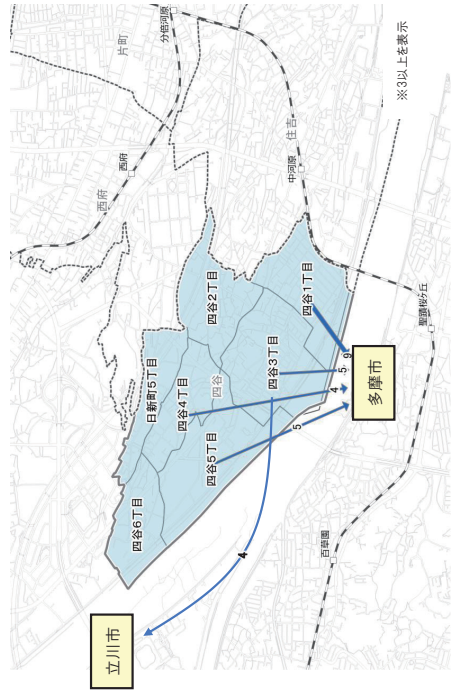
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「中河原駅周辺」が最も多い。
- 四谷4丁目、四谷5丁目では町内で日用品の買い物を済ませる傾向もある。
- 地区北部から「西府駅周辺」への買い物も見られる。
- 四谷3丁目から「多摩市」への移動も見られる。
- 一方で、府中駅方面への移動は、比較的少ない。



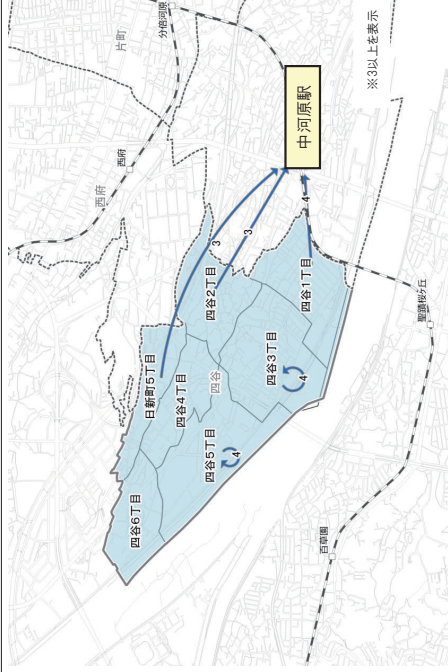
【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先は、「多摩市」が多く、市内への移動は少ない。



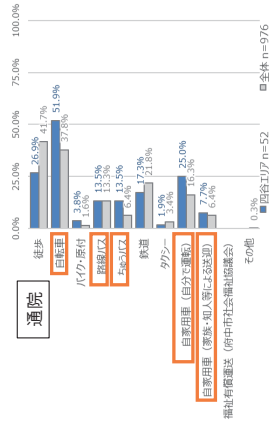
【通院】

- 通院先は、「中河原駅周辺」が多い。
- 四谷5丁目、四谷3丁目では、地域内の通院も見られる。
- その他、「西府駅」への通院も一定程度見られる。

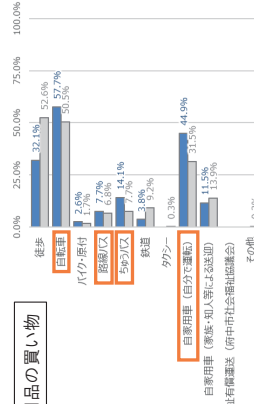


【交通手段】

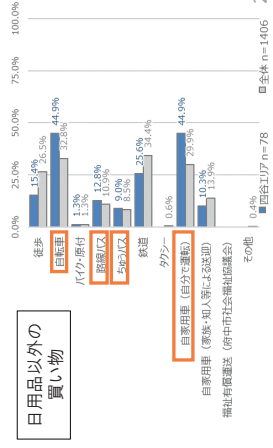
- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べるといずれの用事においても鉄道の利用が少なく、自転車・路線バス・ちゅうバス・**自家用車(自分で運転)**の利用が多い傾向がある。
- また、徒歩も少なく、**マイカー依存が進んでいる**地域となっている。



日用品の買い物



日用品以外の買い物



地区別カルテ (⑩四谷文化センター圏域)

【通勤状況】

- ・ 約6割が「週に3回以上」、約66%が「週に1回以上」の通勤をしており、通勤者の割合が比較的多いエリアである。
- ・ 「通勤・通学していない (24.4%)」の割合は市全体と同程度である。
- ・ 交通手段は、「**自家用車 (35.5%)**」「**自転車 (31.6%)**」「**徒歩 (18.4%)**」「**鉄道 (18.4%)**」となっており、**路線バス・ちゅうバスの利用は1割弱**であった。
- ・ 通勤先は「**都内 (港区、目黒区、多摩市など)**」が**42.9%**と多く、次いで「**市内**」が**39.3%**であった。

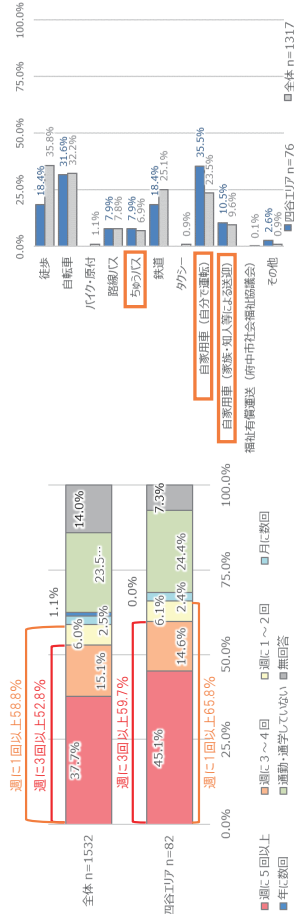


図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段

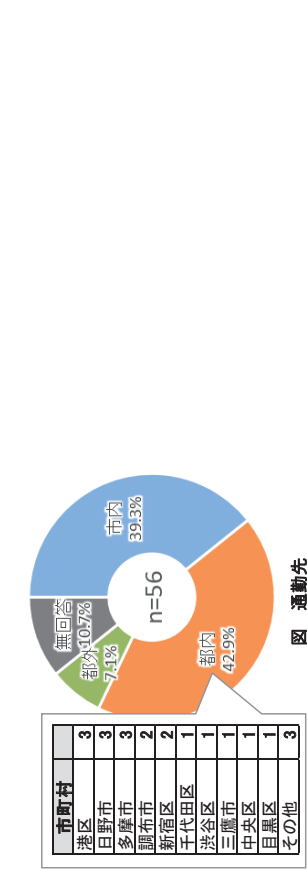


図 通勤先

■地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 中河原駅周辺や西府駅、多摩市方面が生活圏となっており、府中駅方面への移動ニーズが比較的に少ないが、ちゅうバス（よつや宛西ルート）が当エリアから府中駅まで運行されており、非効率的な運行ルートとなっている可能性がある。
- ・ また、買い物や通院は中河原駅周辺又は地区内で済ませる傾向も見られる。
- ・ ちゅうバスが片方向循環となっていることから、利便性が低くなっている可能性がある。

【課題】

- ・ 四谷エリア～府中駅間の移動ニーズを踏まえ、ちゅうバス運行ルートの見直し検討が必要である。
- ・ 地区北部から西府駅周辺へのアクセス性の向上の検討が必要である。

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「**中河原駅**」の利用が最も多く、次いで「**西府駅**」の利用も一部見られる。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、**徒歩・自転車が多い**。
- ・ 晴天時は**約1割が路線バス・ちゅうバス**を利用しており、雨天時は、それぞれの利用割合が異なる。

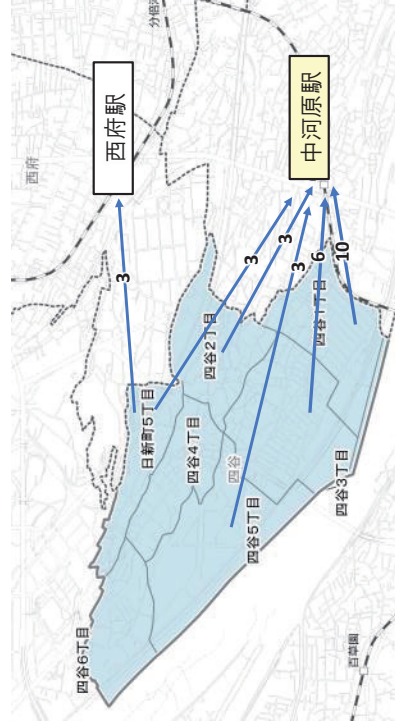


図 日常的に利用する駅

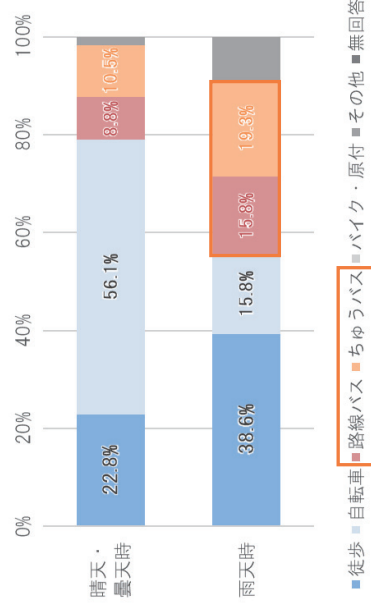


図 駅までの交通手段

地区別カルテ (①片町文化センター圏域)

■地区現況

- 地区人口は27,866人（全市に占める割合10.7%）であり、府中駅や府中本町周辺に特に集中している。
- 老年人口は5,818人、高齢化率は20.9%であり、府中市の中では高齢化率がやや低い。
- 地区内には、路線バスが7路線、ちゅうバスが2路線運行しており、「府中駅」「国立駅」「谷保駅」「中河原駅」にアクセスすることができる。
- 矢野町4丁目・5丁目には交通不便地域となっているが、郷土の森公園や大東京総合売センターなど、非住居での利用が多くなされている。
- 「分倍河原駅」は、JR南武線と京王線の結節点となっており、「府中駅」「立川方面」「調布・新宿方面」等にもアクセスすることができる。

【地区概要】

＜府中市全市＞		＜片町エリア＞	
面積	人口・世帯等	面積	人口・世帯等
29.43km ²	126,160世帯	2.93km ²	3,256人
126,160世帯	280,232人	126,160世帯	280,232人
人口	34,682人	人口	34,682人
0～14歳	13.1%	0～14歳	13.1%
15～64歳	16.0%	15～64歳	16.0%
65歳以上	65.0%	65歳以上	65.0%
3	56,894人	3	56,894人
分	21,997人	分	21,997人
人口	29,604人	人口	29,604人
0～14歳	11.4%	0～14歳	11.4%
15～64歳	18.8%	15～64歳	18.8%
65歳以上	67.1%	65歳以上	67.1%
55歳以上	5.818人	55歳以上	5.818人
人口	20.9%	人口	20.9%
75歳以上(高齢)	2,978人	75歳以上(高齢)	2,978人
	10.3%		10.3%

※高齢・世帯・人口は平成31年1月1日現在。
※世帯数は、世帯主が片町エリアに在住する世帯のみを算出している。
※年齢は、住民基本台帳より。

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
17 (京王バス)	府中駅～谷保駅～国立駅南口	48便
44・45 (京王バス)	府中駅～西国分寺駅	35便
42・46 (京王バス)	府中駅～府中インテリジェントパーク～府中駅	46便 (府中は土日、それぞれ1便ずつ)
52 (京王バス)	府中駅～分倍河原駅～郷土の森線 谷保駅	3便
61 (京王バス)	府中駅～谷保駅～稲城駅立寄	1便
52 (京王バス)	分倍河原駅～郷土の森線 谷保駅	27便
53 (京王バス)	日野駅～日野駅～分倍河原駅	1便
北山町循環 (ちゅうバス)	府中駅～武蔵文化センター西	23便
よつや西武ルート (ちゅうバス)	府中駅～分倍河原駅～中河原駅	21便

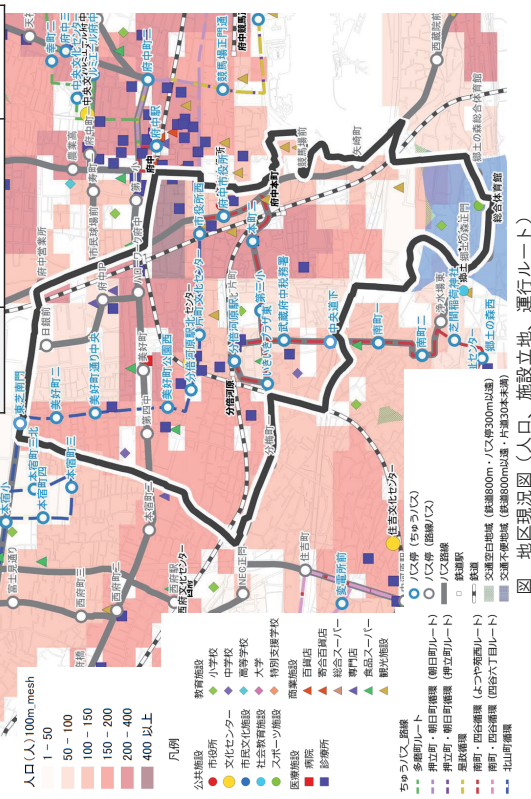


図 地区現況 (人口、施設立地、運行ルート)

■公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスは、「分倍河原駅北」「分倍河原駅」「分倍河原駅」となっている。一方、「第三小学校」「武蔵府中務署」においては、比較的利用が少ない。
- 市全体と比較すると、ちゅうバス・路線バスともに利用が少ない地域となっている。
- 公共交通の満足度をみると、不満と回答したものは約1割であり、市全体と比べて割合が低い。
- 公共交通の不満点としては、「目的地までのバスがない (23.5%)」「バスの本数が少ない (23.5%)」「自転車駐車場が足りない (23.5%)」「自転車走行環境が悪い (23.5%)」であった。

【利用状況】

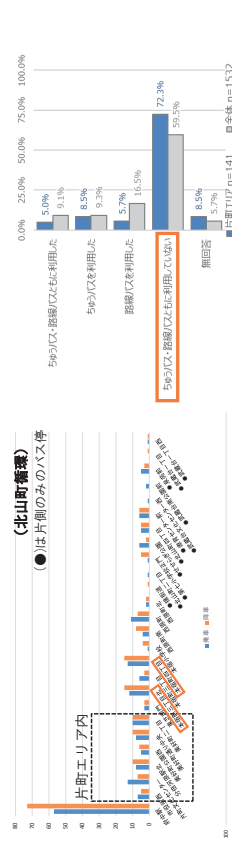


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

バス停別の乗降車数 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

【公共交通に対する満足度】(R2市民アンケートより)



図 公共交通の満足度

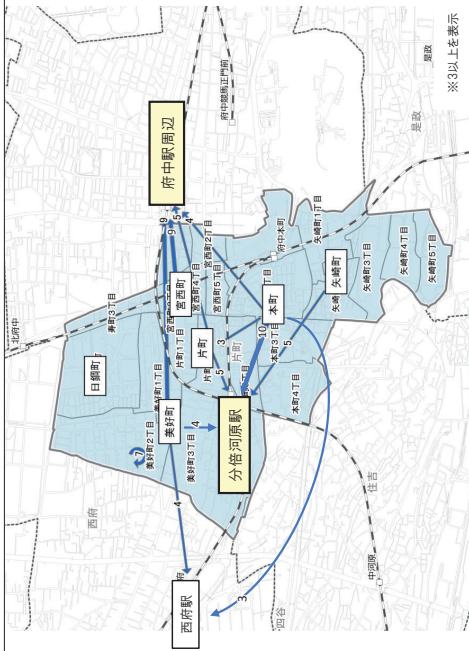
- 公共交通に対する満足度
- 満足
 - やや満足
 - どちらとも言えない
 - やや不満
 - 不満
 - 無回答
- 公共交通の不満点
- 住民の声 (令和2年度 市民アンケート 下より)
 - 府中駅前の自転車置場 (ちよこりんスポット) がなくなり、府中駅に行くのが不便になった。(美好町2丁目 50代 男性)
 - 矢野町4丁目 50代 女性 など
 - ちゅうバスのバス停を増やしてほしい (美好町3丁目 30代 男性)
 - タクシー券や買い物代行などがあれば、より便利。
 - 高齢者がバス停まで徒歩で行くには遠い。

地区別カルテ (①片町文化センター圏域)

■移動特性 (R2市民アンケートより)

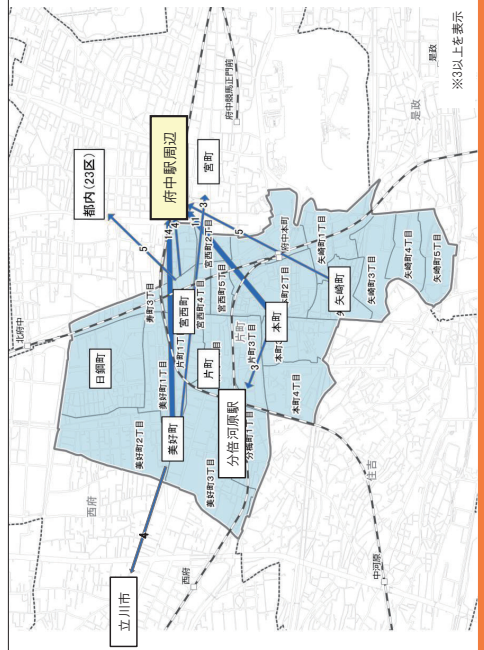
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「分倍河原駅周辺」「府中駅周辺」が多く、「西府駅周辺」も一定程度見られる。
- 一部、美好町内、本町から片町といった地区内の買い物も見られる。



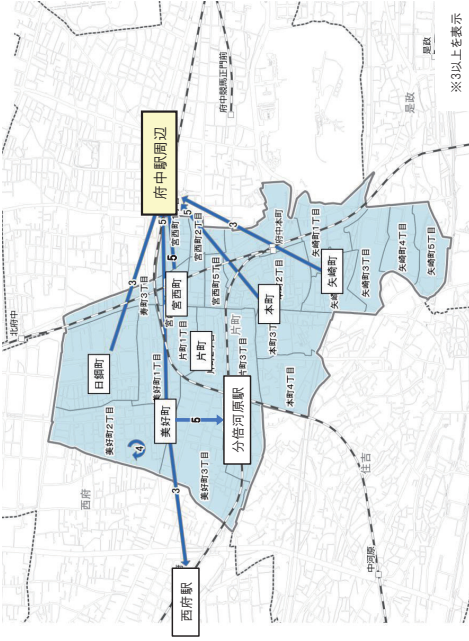
【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先は、「府中駅周辺」が多く、「西府駅周辺」も、「都内(23区)」と、本町から「分倍河原駅」への移動も見られる。



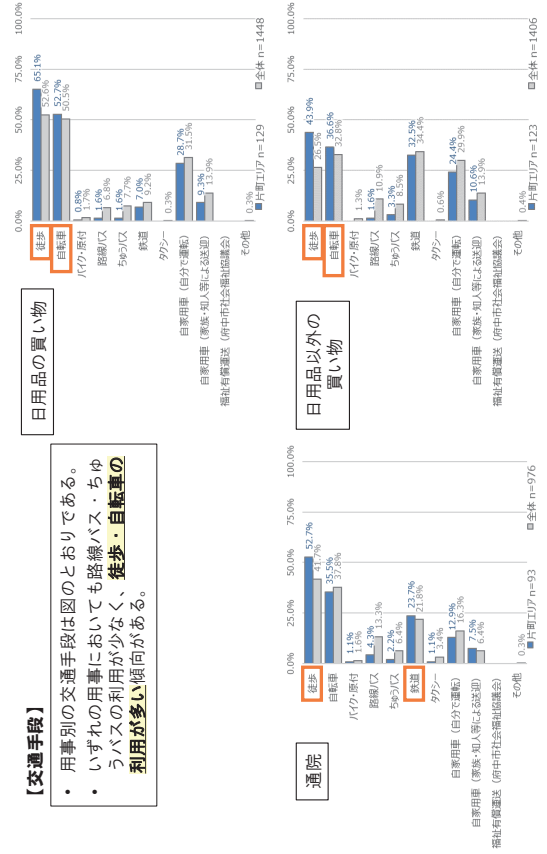
【通院】

- 通院先は、「府中駅周辺」が多い。
- 一部、美好町内、美好町から西府駅周辺・分倍河原駅周辺への通院も見られる。



【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- いずれの用事においても路線バス・ちゅうバスの利用が少なく、徒歩・自転車の利用が多い傾向がある。



地区別カルテ (①片町文化センター圏域)

【通勤状況】

- ・ 約56%が「週に3回以上」、約64%が「週に1回以上」の通勤をしている。
- ・ 通勤先は「都内(港区・千代田区・調布市など)」が多く、市内に勤務している割合は33.7%であった。
- ・ 交通手段は、「徒歩(43.0%)」「自転車(26.6%)」「鉄道(24.2%)」となっており、「路線バス・ちゅうバスの利用はほぼ見られない。



図 通勤の頻度

図 通勤時の移動手段

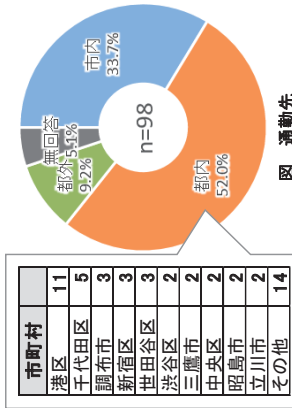


図 通勤先

【日常的に利用する鉄道駅】

- ・ 「分倍河原駅」の利用が最も多く、次いで「府中駅」の利用も多い。
- ・ 鉄道駅までの交通手段は、徒歩・自転車が多い。雨天時は、路線バス・ちゅうバスを利用する割合がわずかに高まる。

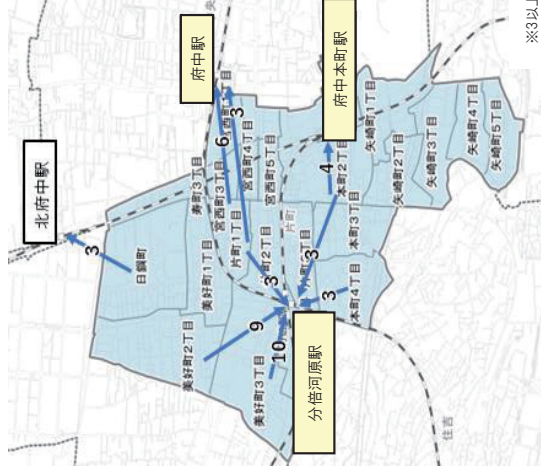


図 日常的に利用する駅

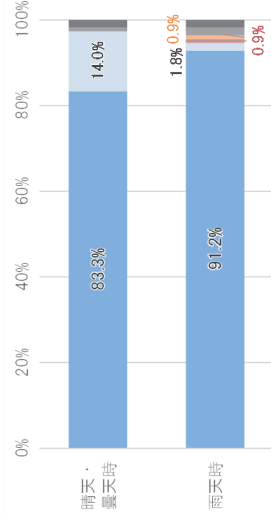


図 駅までの交通手段

■ 地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- ・ 生活圏は、分倍河原駅・府中駅周辺となっており、鉄道・ちゅうバス・路線バスによって公共交通アクセスが確保されている。
- ・ 主要駅への交通アクセスが確保されているものの、ちゅうバス・路線バスの利用率が低いことから、当地区におけるバスニーズが比較的低い可能性がある。
- ・ 自転車利用が多い地区であり、府中駅周辺の駐輪場に関する要望が比較的多く挙げられている。

【課題】

- ・ 分倍河原駅・府中駅周辺へのアクセス性の維持に向けた検討が必要である。